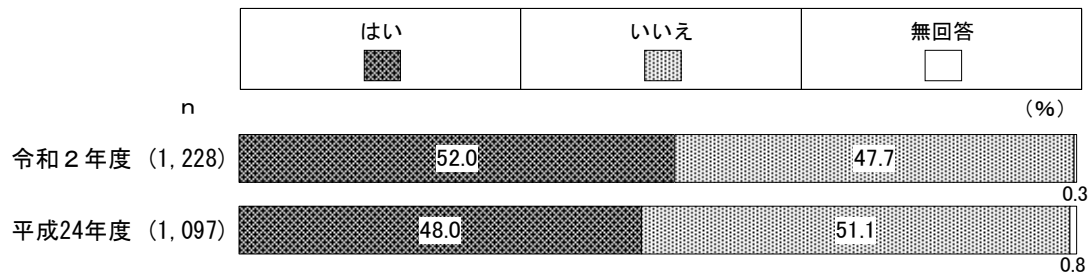


5. 子どもの事故予防等について

(1) 事故による死亡が多い事実の認知

問41 1歳から14歳までの子どもは、病気で亡くなるよりも事故で亡くなる子どもの方が多いことを知っていましたか。

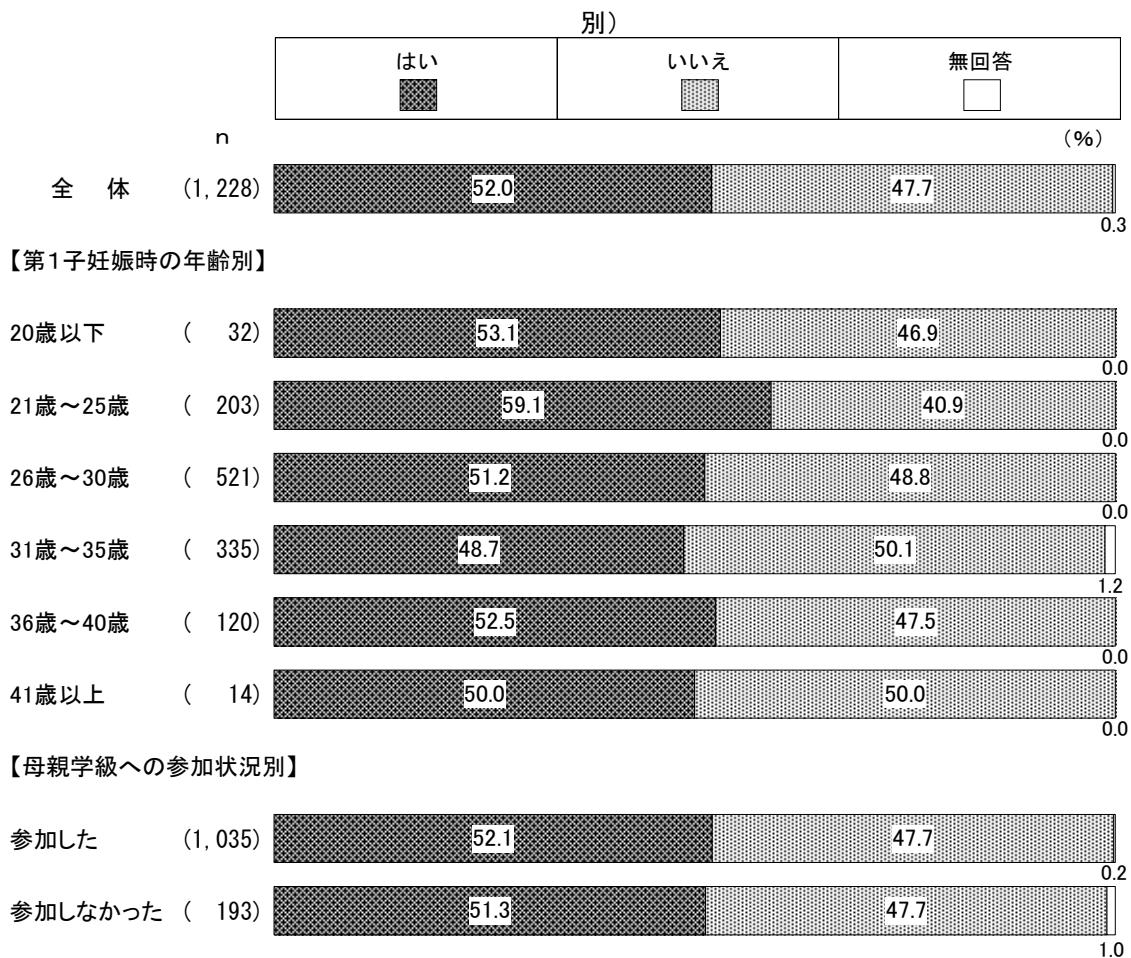
図表5-1-1 事故による死亡が多い事実の認知（経年比較）



子どもは事故による死亡が多い事実について知っていたか聞いたところ、「はい」が52.0%、「いいえ」は47.7%となっている。

過去の調査と比較すると、「はい」は平成24年度より4.0ポイント増加している。

図表5-1-2 事故による死亡が多い事実の認知（第1子妊娠時の年齢別、母親学級への参加状況別）



第1子妊娠時の年齢別で見ると、「はい」は“21歳～25歳”で59.1%と高くなっている。

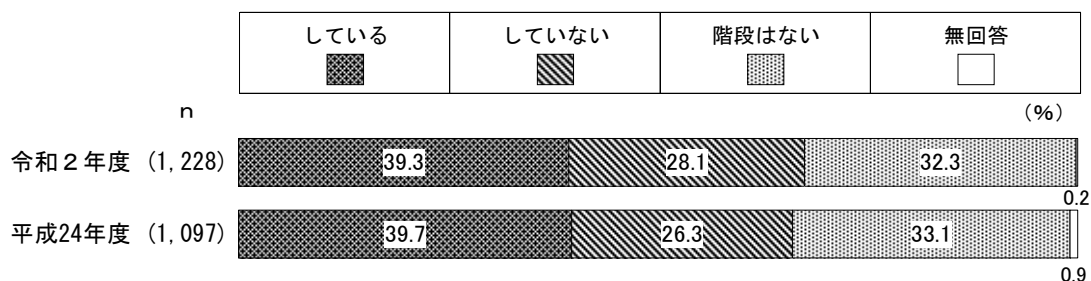
母親学級への参加状況別で見ると、大きな違いはみられない。

(2) 階段から落ちない工夫

問42 家庭内での子どもの事故やけがの防止のための工夫についておうかがいします。

① 階段などから子どもが落ちないように柵などをつけている

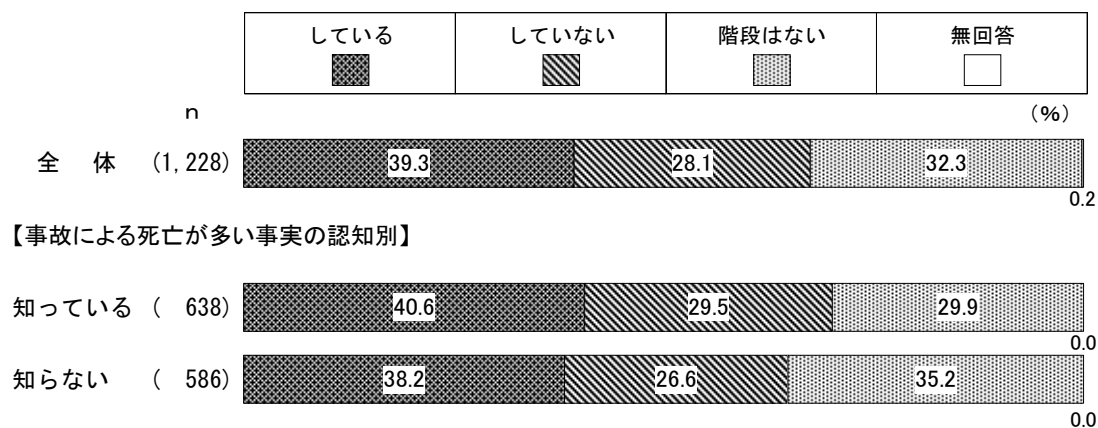
図表5-2-1 階段から落ちない工夫（経年比較）



階段などから子どもが落ちないように柵などをつけているか聞いたところ、「している」が39.3%、「していない」は28.1%となっている。また、「階段はない」は32.3%となっている。

過去の調査と比較すると、平成24年度と比べて大きな傾向の変化はみられない。

図表5-2-2 階段から落ちない工夫（事故による死亡が多い事実の認知別）



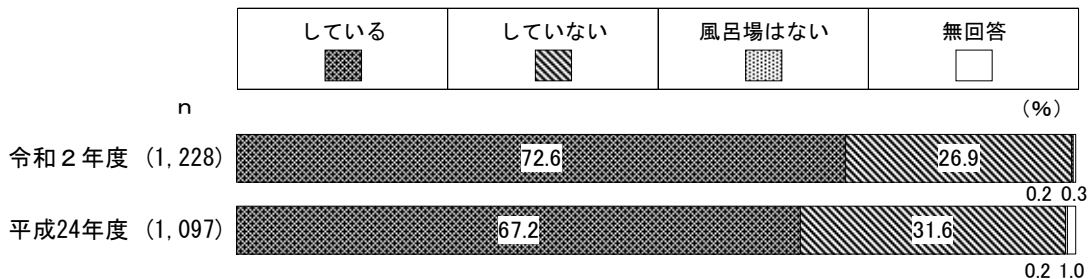
事故による死亡が多い事実の認知別で見ると、大きな違いはみられない。

(3) 浴槽に落ちない工夫

問42 家庭内での子どもの事故やけがの防止のための工夫についておうかがいします。

② 水を張った浴槽に子どもが落ちないように工夫している

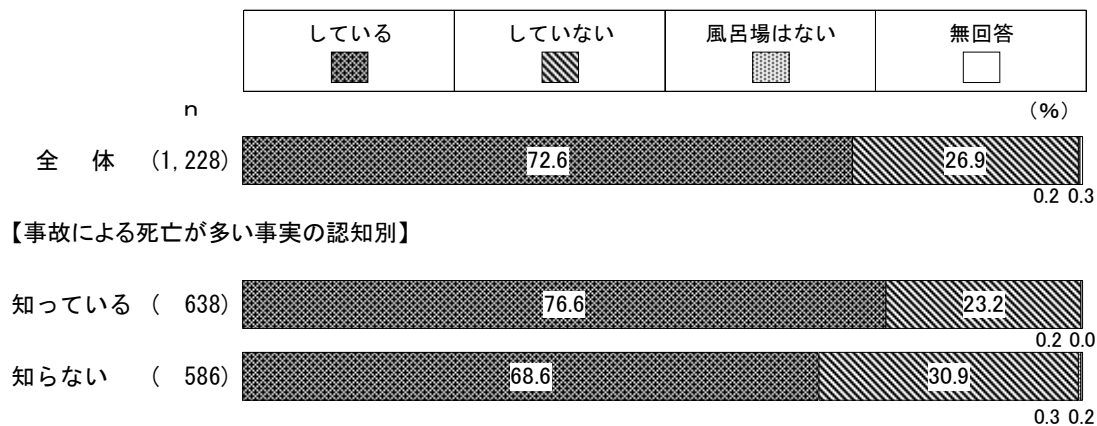
図表5-3-1 浴槽に落ちない工夫（経年比較）



水を張った浴槽に子どもが落ちないように工夫しているか聞いたところ、「している」が72.6%、「していない」は26.9%となっている。また、「風呂場はない」は0.2%となっている。

過去の調査と比較すると、「している」は平成24年度より5.4ポイント増加している。

図表5-3-2 浴槽に落ちない工夫（事故による死亡が多い事実の認知別）



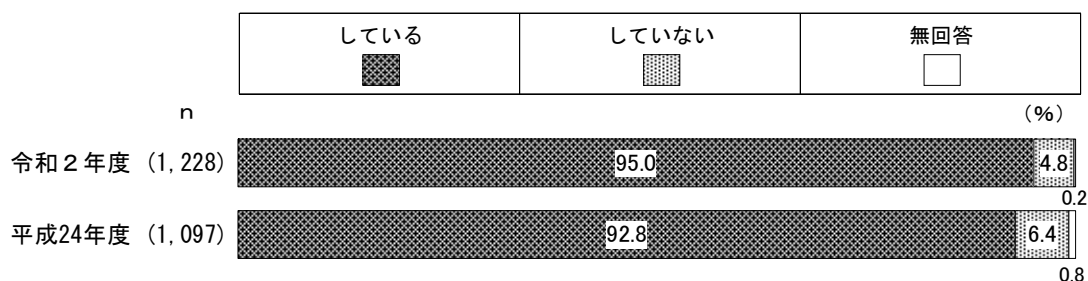
事故による死亡が多い事実の認知別で見ると、「している」は“知っている人”（76.6%）が“知らない人”（68.6%）より8.0ポイント高くなっている。

(4) 子どもだけの留守番の防止

問42 家庭内での子どもの事故やけがの防止のための工夫についておうかがいします。

③ 子どもだけを家に残さないようにしている

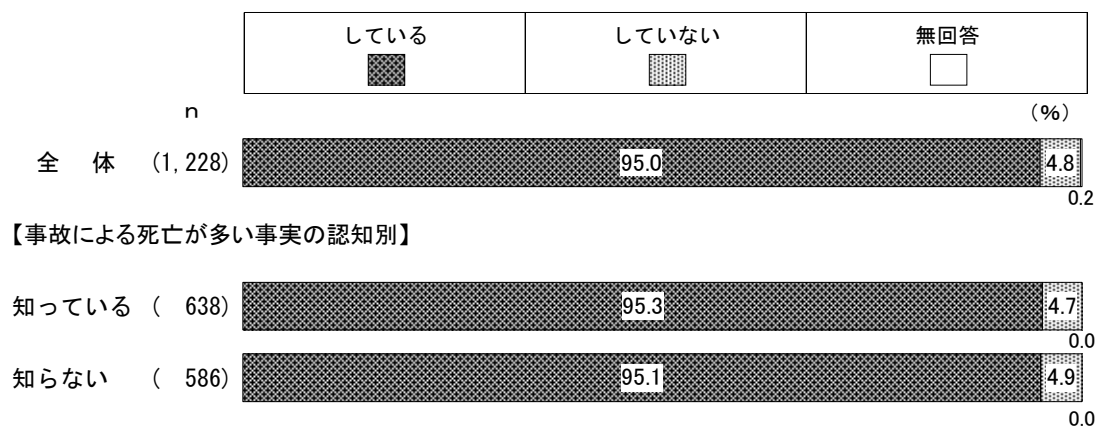
図表5-4-1 子どもだけの留守番の防止（経年比較）



子どもだけを家に残さないようにしているか聞いたところ、「している」が95.0%、「していない」は4.8%となっている。

過去の調査と比較すると、平成24年度と比べて大きな傾向の変化はみられない。

図表5-4-2 子どもだけの留守番の防止（事故による死亡が多い事実の認知別）



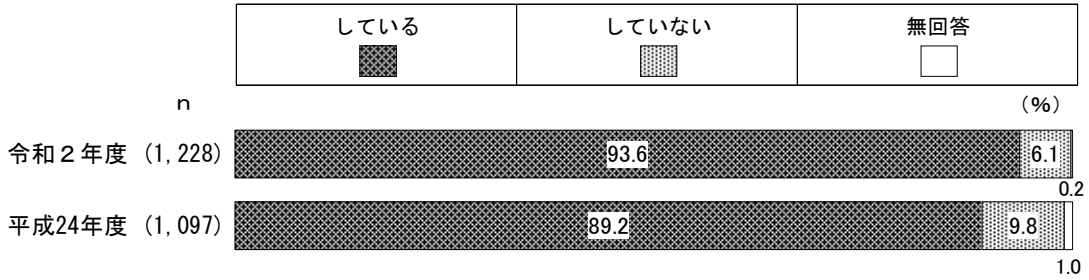
事故による死亡が多い事実の認知別で見ると、大きな違いはみられない。

(5) 異物の誤飲の防止

問42 家庭内での子どもの事故やけがの防止のための工夫についておうかがいします。

④ 誤って飲みこまないように、薬やお金などは子どもの手の届かないところに置いている

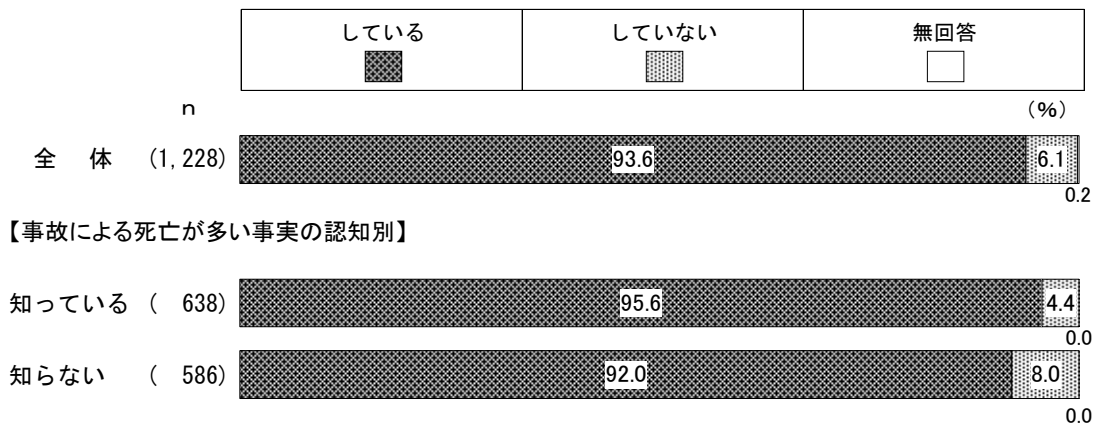
図表5-5-1 異物の誤飲の防止（経年比較）



誤って飲みこまないように、薬やお金などは子どもの手の届かないところに置いているか聞いたところ、「している」が93.6%、「していない」は6.1%となっている。

過去の調査と比較すると、「している」は平成24年度より4.4ポイント増加している

図表5-5-2 異物の誤飲の防止（事故による死亡が多い事実の認知別）



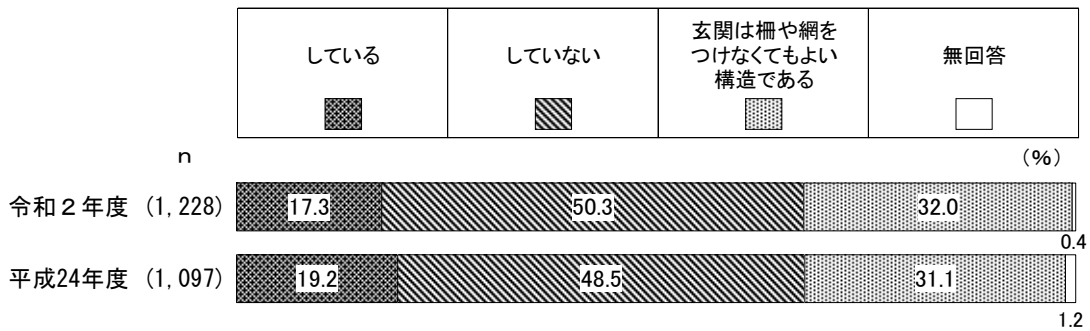
事故による死亡が多い事実の認知別でみると、「している」は“知っている人”（95.6%）が“知らない人”（92.0%）より3.6ポイント高くなっている。

(6) 玄関からの飛び出し防止

問42 家庭内での子どもの事故やけがの防止のための工夫についておうかがいします。

⑤ 玄関から飛び出さないように柵や網をつけている

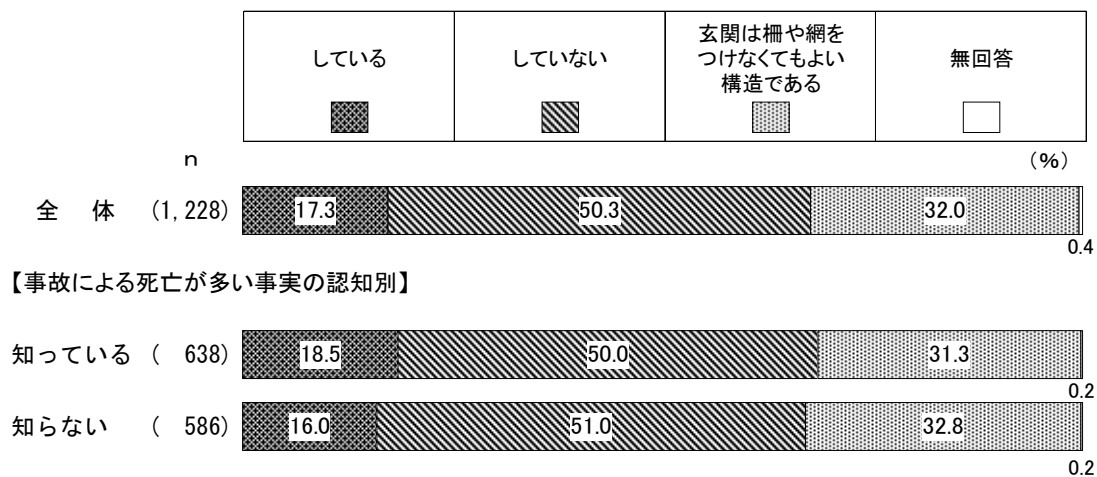
図表5-6-1 玄関からの飛び出し防止（経年比較）



玄関から飛び出さないように柵や網をつけているか聞いたところ、「している」が17.3%、「していない」は50.3%となっている。また、「玄関は柵や網をつけなくてもよい構造である」は32.0%となっている。

過去の調査と比較すると、平成24年度と比べて大きな傾向の変化はみられない。

図表5-6-2 玄関からの飛び出し防止（事故による死亡が多い事実の認知別）

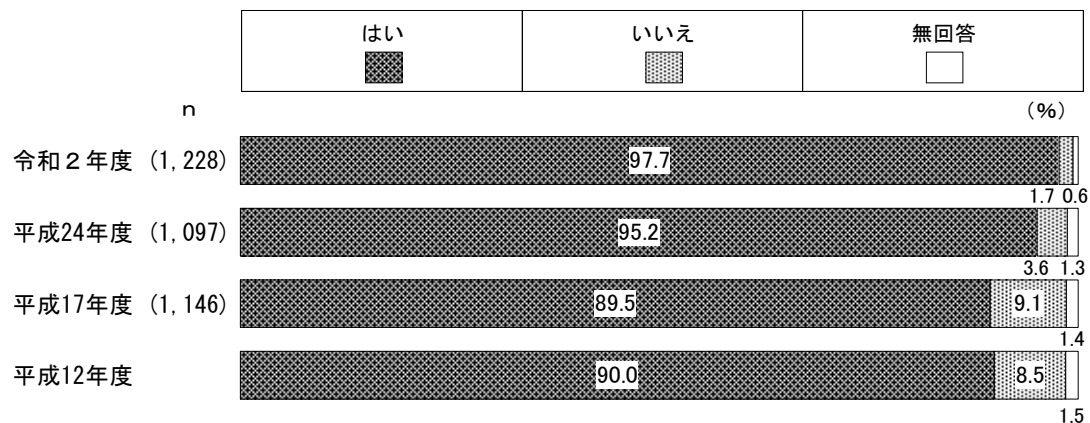


事故による死亡が多い事実の認知別でみると、大きな違いはみられない。

(7) チャイルドシートの使用状況

問43 子どもを車に乗せるときにはチャイルドシートを使用していますか。

図表5-7-1 チャイルドシートの使用状況（経年比較）



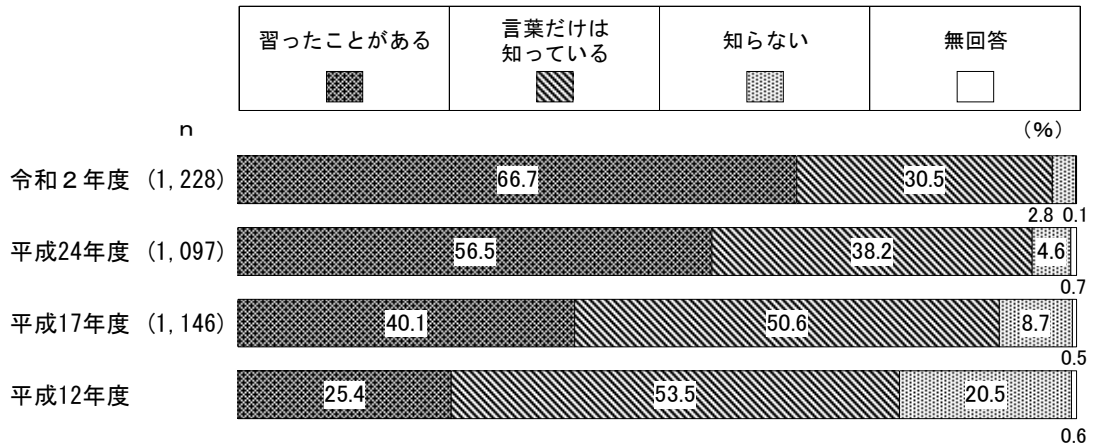
チャイルドシートを使用しているか聞いたところ、「はい」が97.7%、「いいえ」は1.7%となっている。

過去の調査と比較すると、「はい」は平成17年度以降増加傾向にある。

(8) 心肺蘇生法の認知

問44 心肺蘇生法を知っていますか。

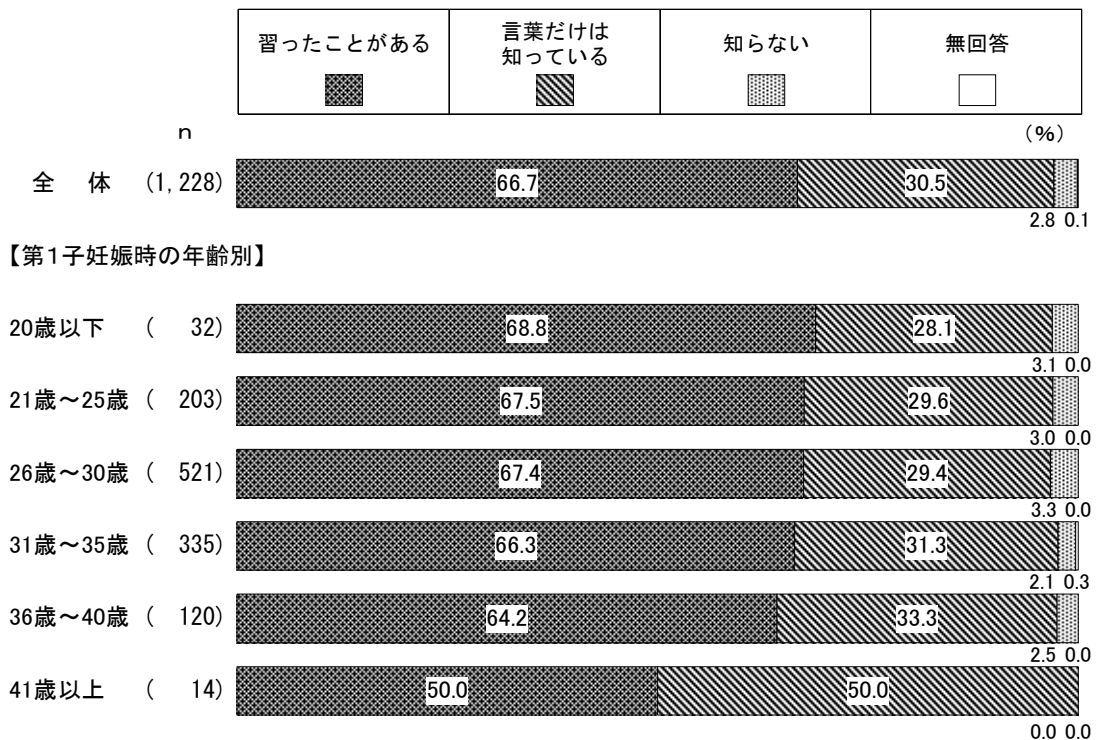
図表5-8-1 心肺蘇生法の認知（経年比較）



心肺蘇生法を知っているか聞いたところ、「習ったことがある」が66.7%、「言葉だけは知っている」は30.5%となっている。

過去の調査と比較すると、「習ったことがある」は平成24年度より10.2ポイント増加しており、平成12年度以降増加傾向にある。

図表5-8-2 心肺蘇生法の認知（第1子妊娠時の年齢別）

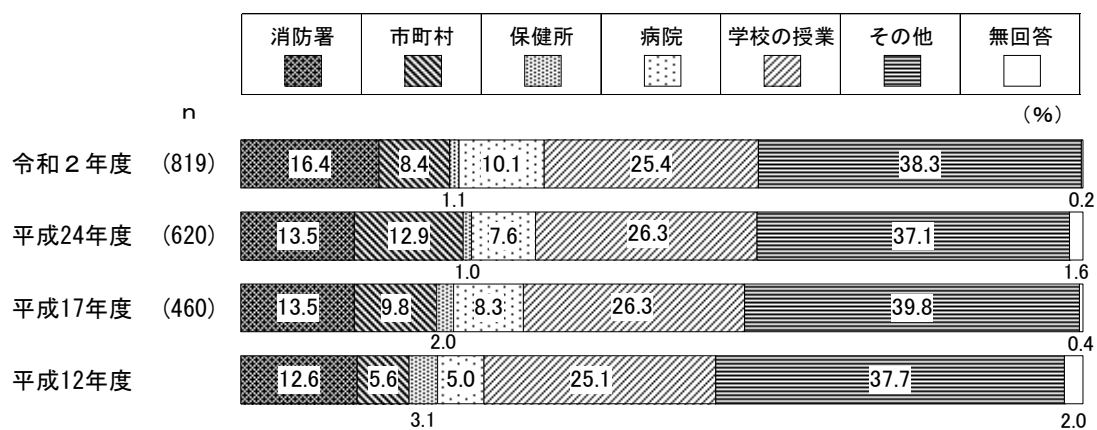


第1子妊娠時の年齢別で見ると、「習ったことがある」は第1子妊娠時の年齢が低くなるほど割合が高く、“20歳以下”で68.8%と高くなっている。

(9) 心肺蘇生法の習得場所

問44で「習ったことがある」と答えた方へ
問44-1 どこで習いましたか。

図表5-9-1 心肺蘇生法の習得場所（経年比較）



心肺蘇生法を「習ったことがある」と答えた人（819人）に、どこで習ったか聞いたところ、「学校の授業」が25.4%で最も高く、次いで「消防署」（16.4%）、「病院」（10.1%）、「市町村」（8.4%）となっている。

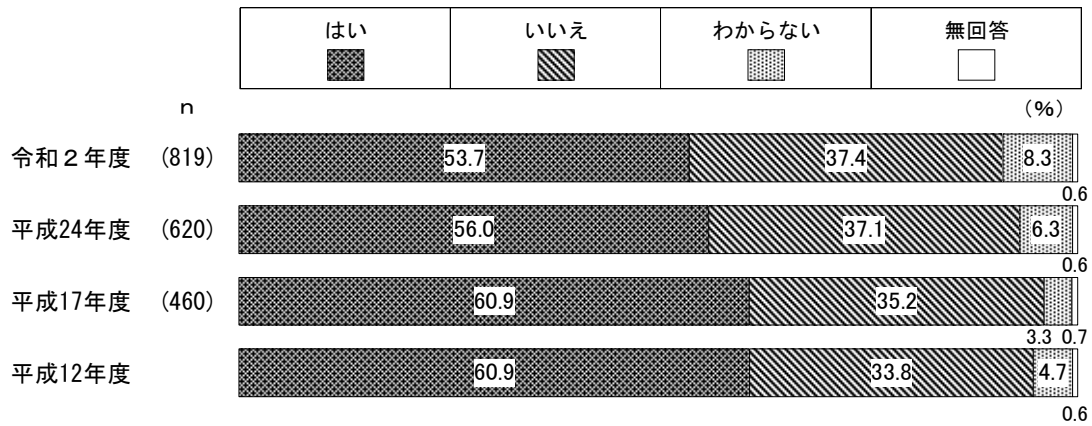
過去の調査と比較すると、「消防署」と「病院」が平成12年度以降増加傾向にある。

(10) 子どもの心肺蘇生法の習得

問44で「習ったことがある」と答えた方へ

問44-2 その際、子どもの心肺蘇生法は習いましたか。

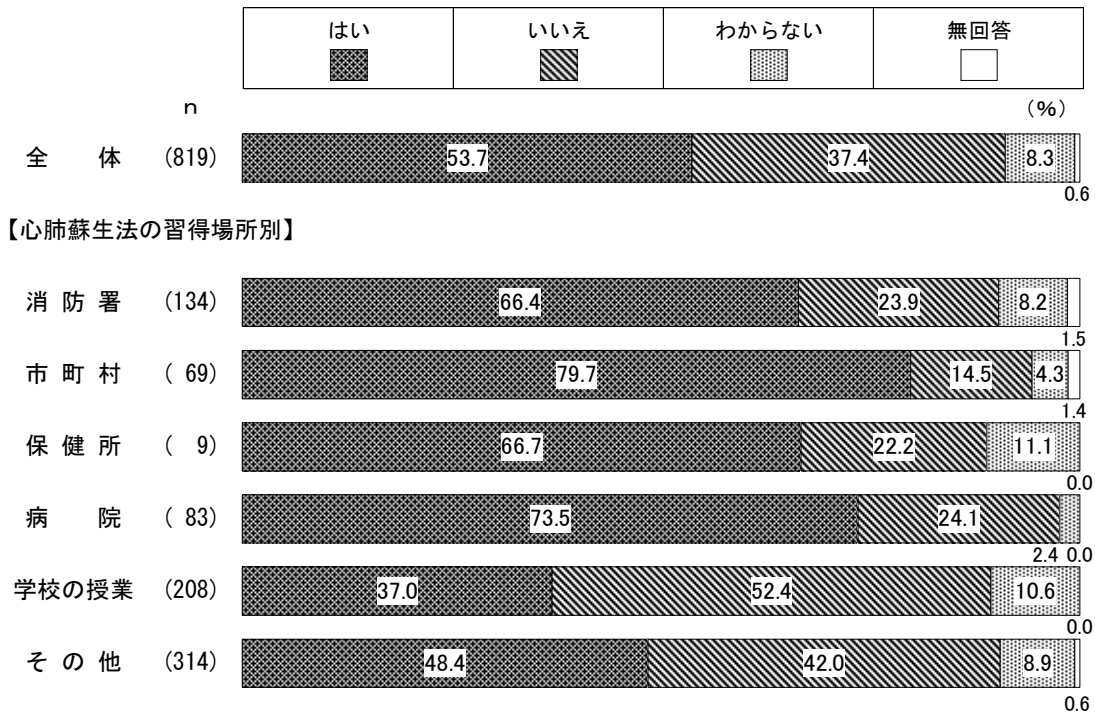
図表5-10-1 子どもの心肺蘇生法の習得（経年比較）



心肺蘇生法を「習ったことがある」と答えた人（819人）に、子どもの心肺蘇生法は習ったか聞いたところ、「はい」が53.7%、「いいえ」は37.4%となっている。

過去の調査と比較すると、「はい」は平成12年度以降減少傾向にある。

図表5-10-2 子どもの心肺蘇生法の習得（心肺蘇生法の習得場所別）



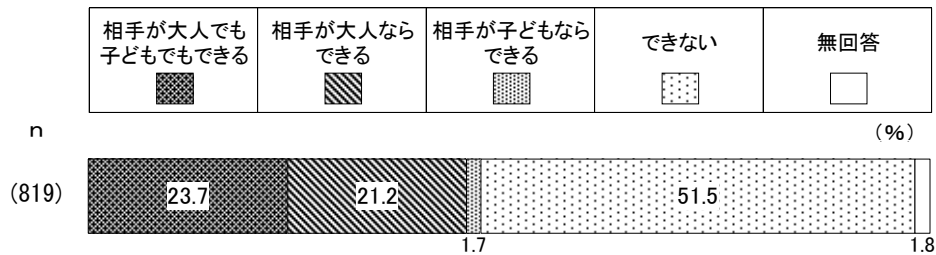
心肺蘇生法の習得場所別でみると、「はい」は“市町村”で79.7%、“病院”で73.5%と高くなっている。

(11) 心肺蘇生法の実践

問44で「習ったことがある」と答えた方へ

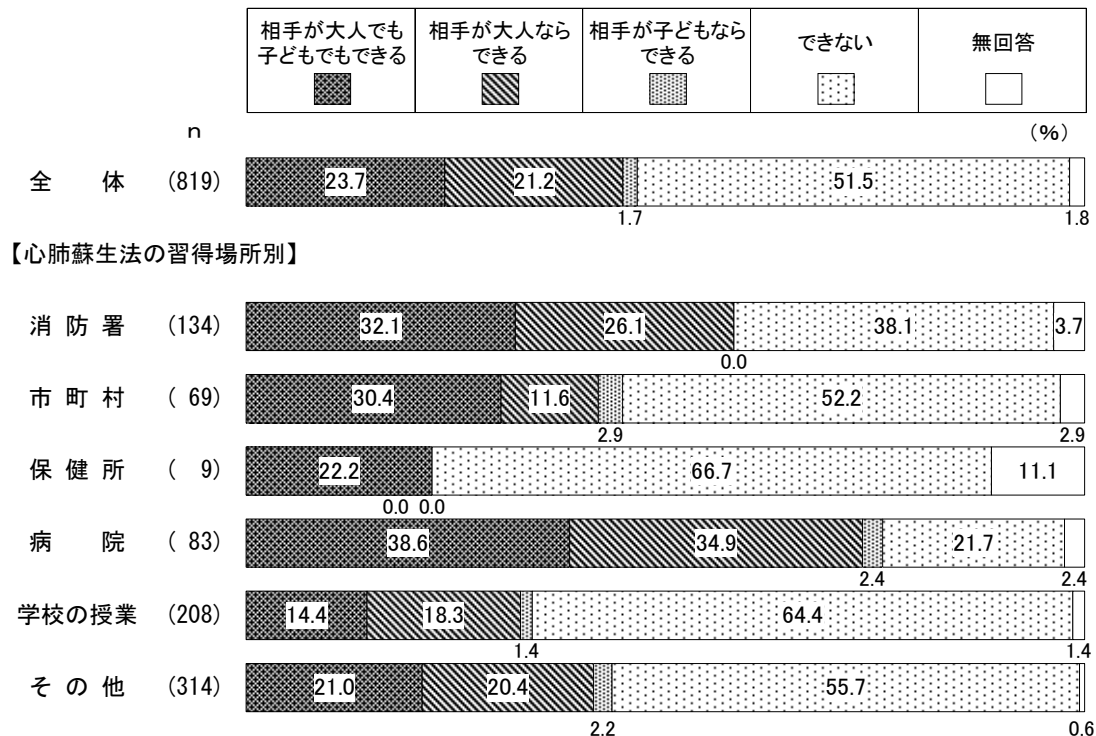
問44-3 実際に心肺蘇生法を実践できると思いますか。

図表5-11-1 心肺蘇生法の実践



心肺蘇生法を「習ったことがある」と答えた人(819人)に、実際に心肺蘇生法を実践できると思うか聞いたところ、「相手も大人でも子どもでもできる」が23.7%、「相手が大人ならできる」は21.2%、「相手が子どもならできる」は1.7%となっている。一方、

図表5-11-2 心肺蘇生法の実践(心肺蘇生法の習得場所別)

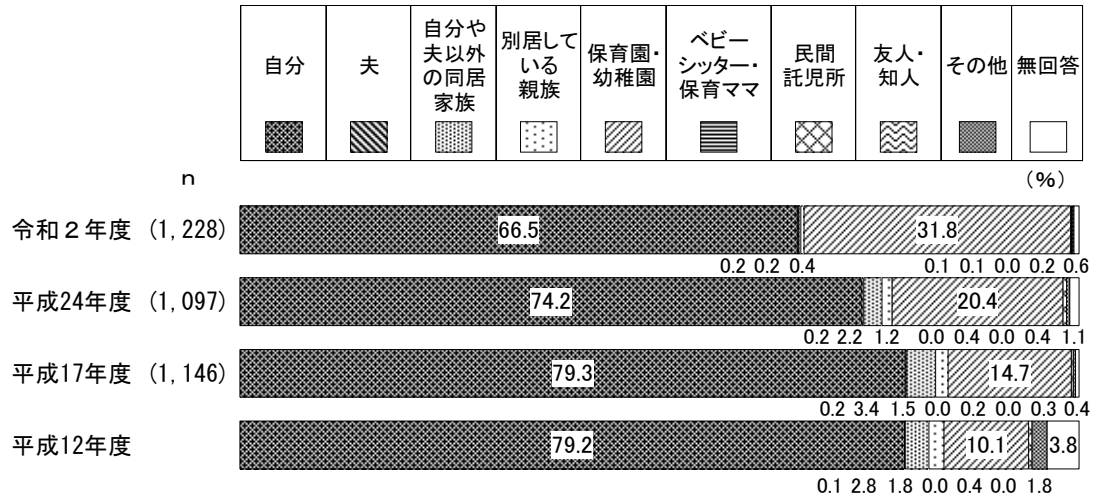


心肺蘇生法の習得場所別でみると、「相手も大人でも子どもでもできる」は“病院”で38.6%と高く、「相手が大人ならできる」でも“病院”で34.9%と高くなっている。一方、「できない」は“学校の授業”で64.4%と高くなっている。

(12) 日中の育児を主に行う人

問45 日中の育児は、主にどなたが行っていますか。続柄はお母さん自身から見たものとして
ます。最も当てはまるものに○をつけてください。

図表5-12-1 日中の育児を主に行う人（経年比較）



※「ベビーシッター・保育ママ」は、平成24年度以前では「家政婦」としていた

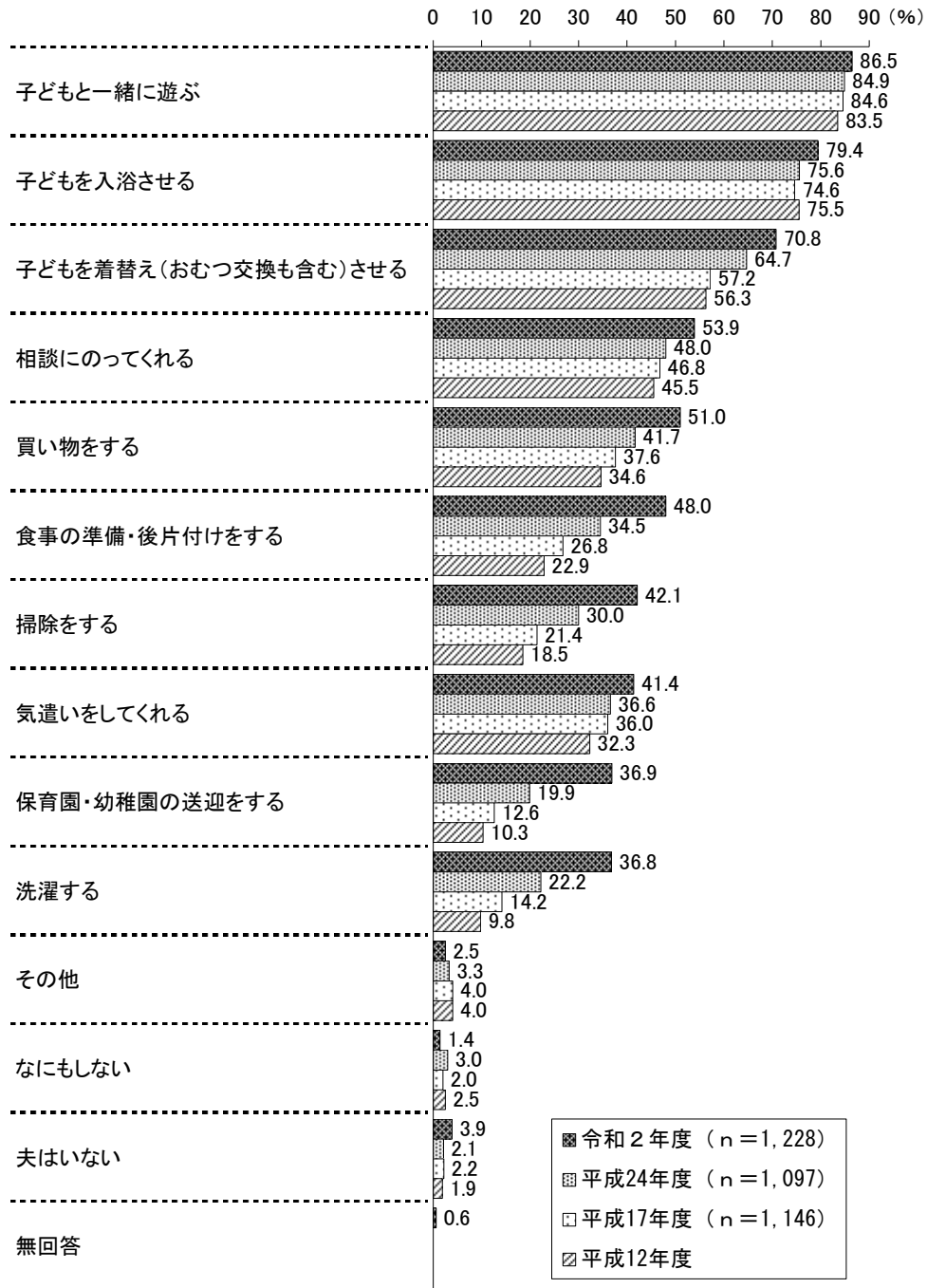
日中の育児を主に行う人を聞いたところ、「自分」が66.5%で最も高く、次いで「保育園・幼稚園」（31.8%）となっている。

過去の調査と比較すると、「保育園・幼稚園」は平成24年度より11.4ポイント増加しており、平成12年度以降増加傾向にある。

(13) 夫の育児参加状況

問46 夫は、育児にどのような形で参加してくれていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

図表 5-13-1 夫の育児参加状況（経年比較）〔複数回答〕



夫は、育児にどのような形で参加してくれているか聞いたところ、「子どもと一緒に遊ぶ」が86.5%で最も高く、次いで「子どもを入浴させる」(79.4%)、「子どもを着替え(おむつ交換も含む)させる」(70.8%)、「相談にのってくれる」(53.9%)となっている。

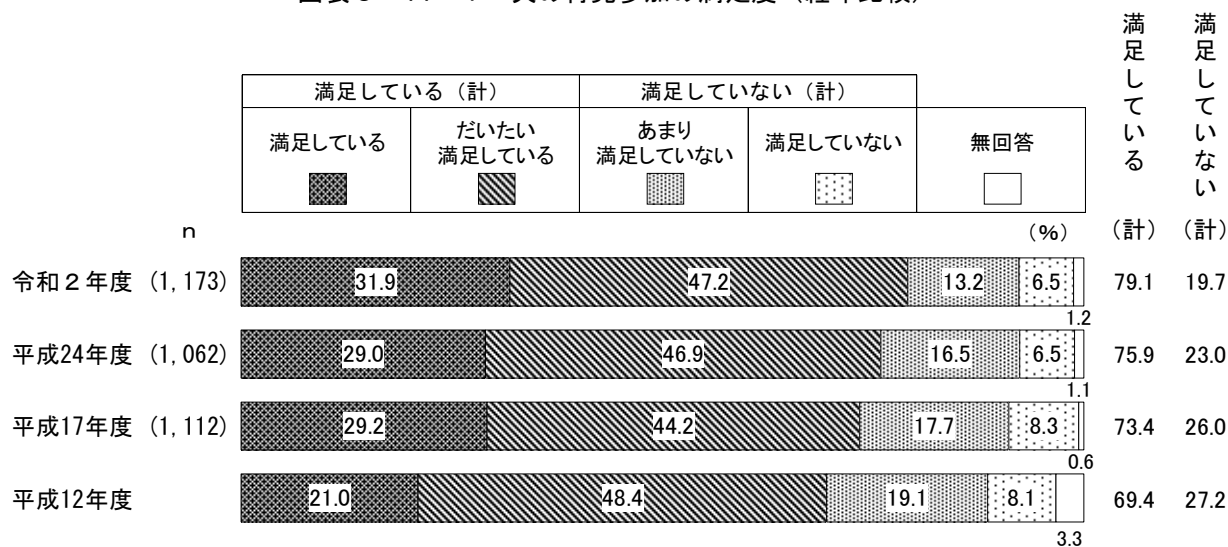
過去の調査と比較すると、「保育園・幼稚園の送迎をする」は平成24年度より17.0ポイント、「洗濯する」は平成24年度より14.6ポイント、「食事の準備・後片付けをする」は平成24年度より13.5ポイント、それぞれ増加している。

(14) 夫の育児参加の満足度

問46で「夫はいない」以外を答えた方へ

問46-1 夫の協力のしかたに満足していますか。

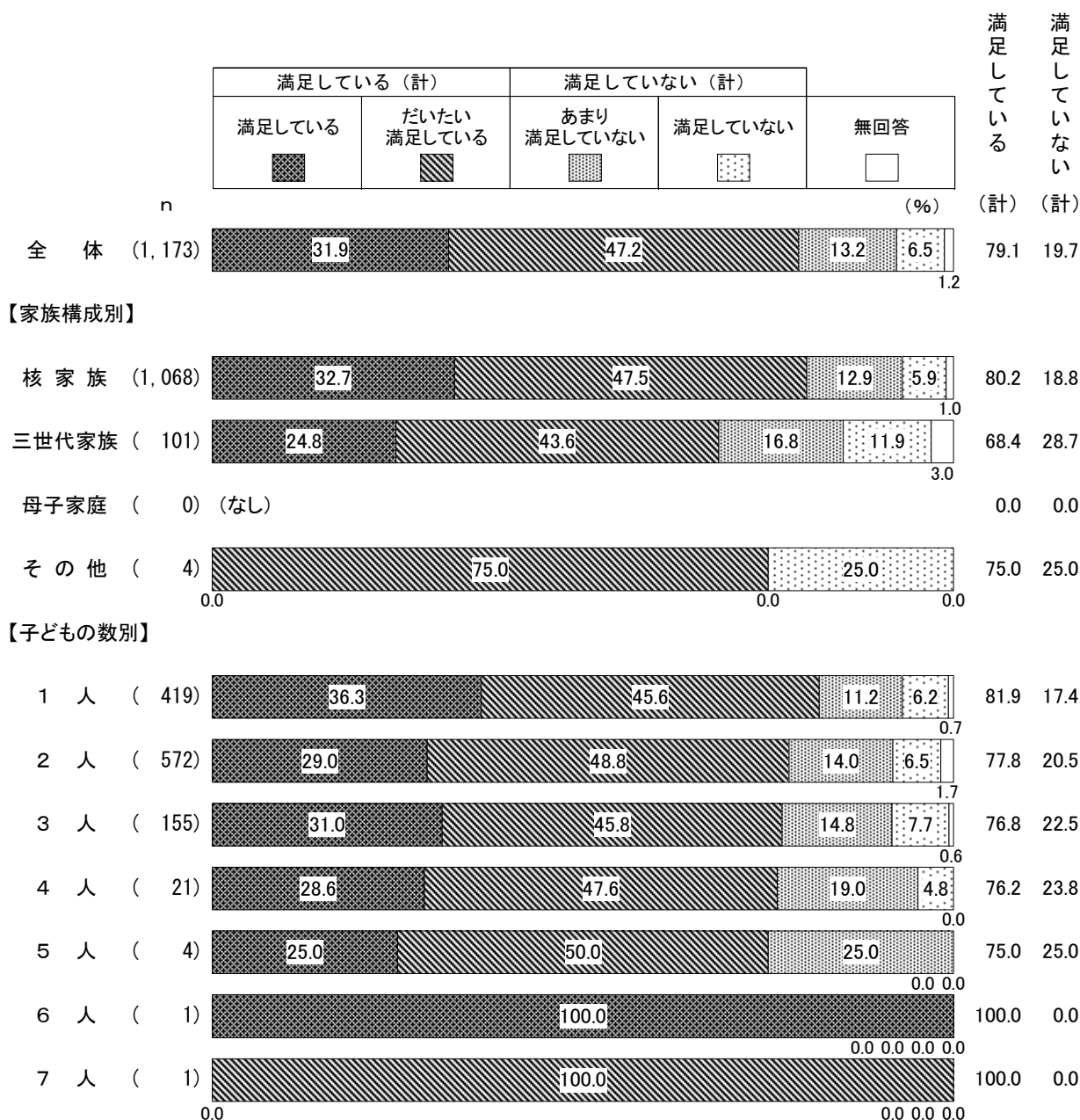
図表5-14-1 夫の育児参加の満足度（経年比較）



夫の育児参加状況で「夫はいない」以外を答えた人（1,173人）に、夫の協力のしかたに満足しているか聞いたところ、「満足している」（31.9%）と「だいたい満足している」（47.2%）を合わせた『満足している（計）』は79.1%となっている。一方、「あまり満足していない」（13.2%）と「満足していない」（6.5%）を合わせた『満足していない（計）』は19.7%となっている。

過去の調査と比較すると、『満足している（計）』は平成24年度より3.2ポイント増加しており、平成12年度以降増加傾向にある。

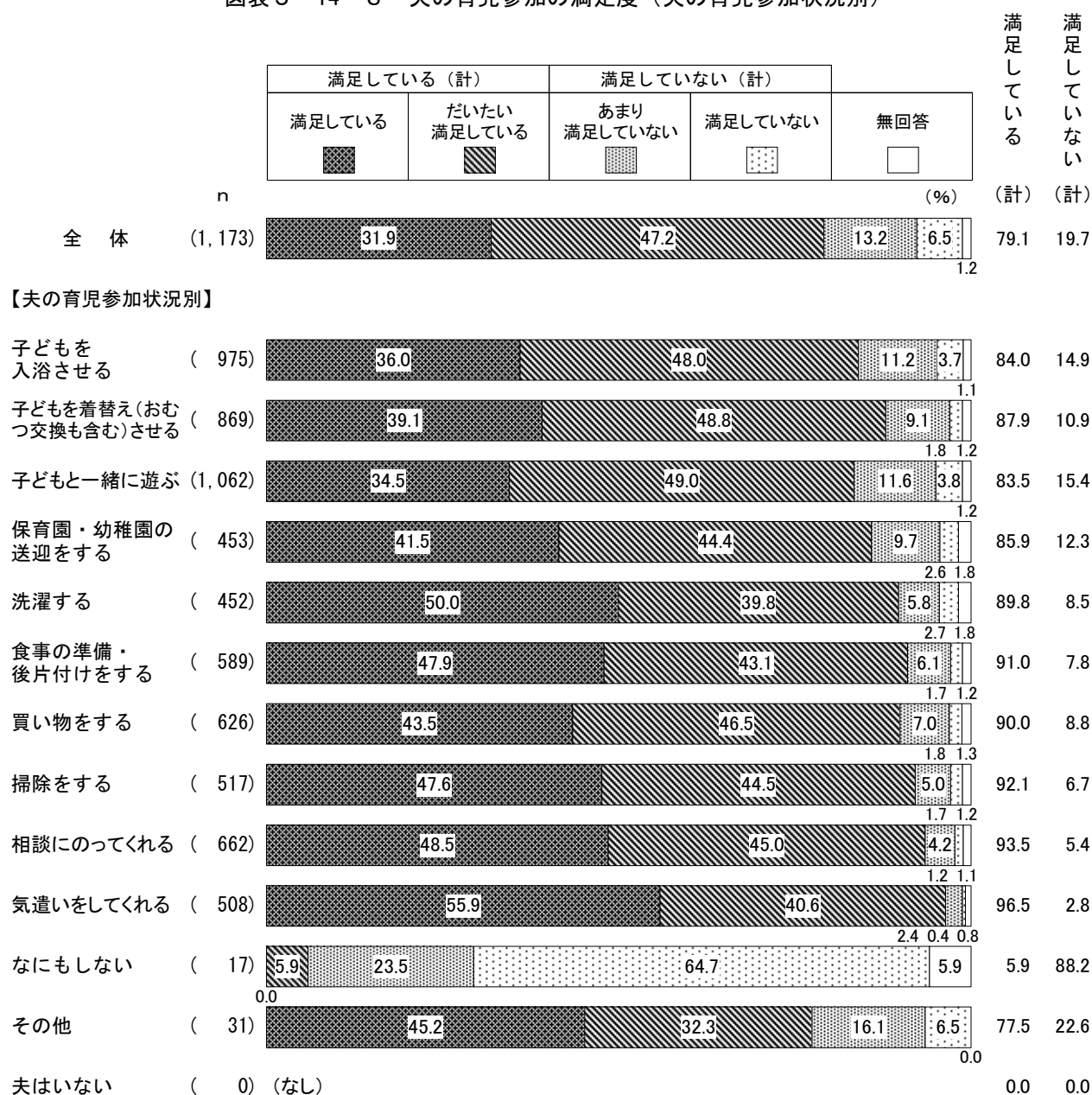
図表5-14-2 夫の育児参加の満足度（家族構成別、子どもの数別）



家族構成別で見ると、『満足している（計）』は“核家族”で80.2%と高くなっている。一方、『満足していない（計）』は“三世代家族”で28.7%と高くなっている。

子どもの数別で見ると、『満足している（計）』はおおむね子どもの人数が少なくなるほど割合が高く、“1人”で81.9%と高くなっている。

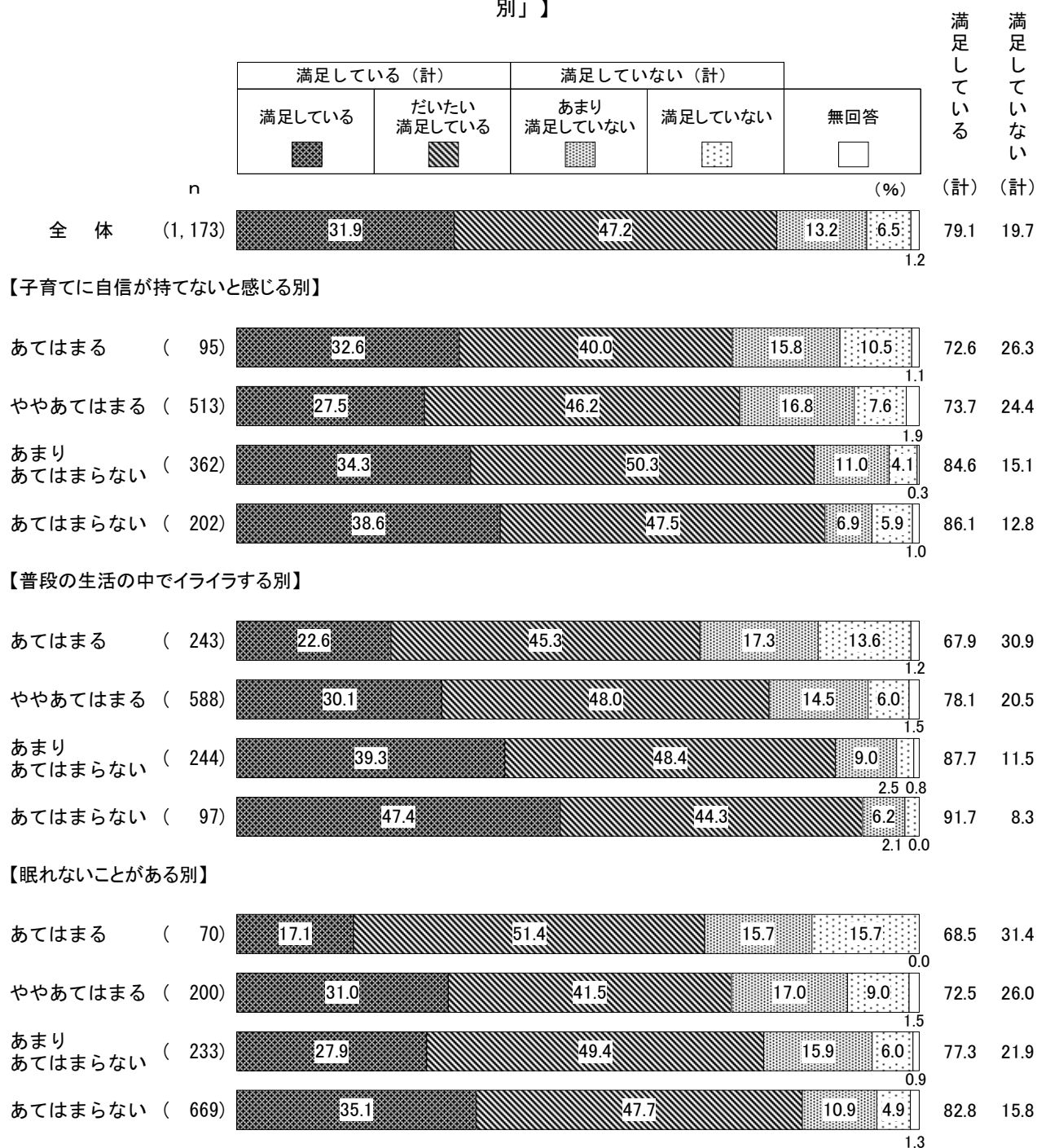
図表 5-14-3 夫の育児参加の満足度（夫の育児参加状況別）



夫の育児参加状況別でみると、『満足している（計）』は“気遣いをしてくれる”で96.5%、“相談にのってくれる”で93.5%、“掃除をする”で92.1%と高くなっている。一方、『満足していない（計）』は“なにもしない”で88.2%と高くなっている。

図表 5-14-4 夫の育児参加の満足度（現在の気分別）

【「子育てに自信が持てないと感じる別」、「普段の生活の中でイライラする別」、「眠れないことがある別」】



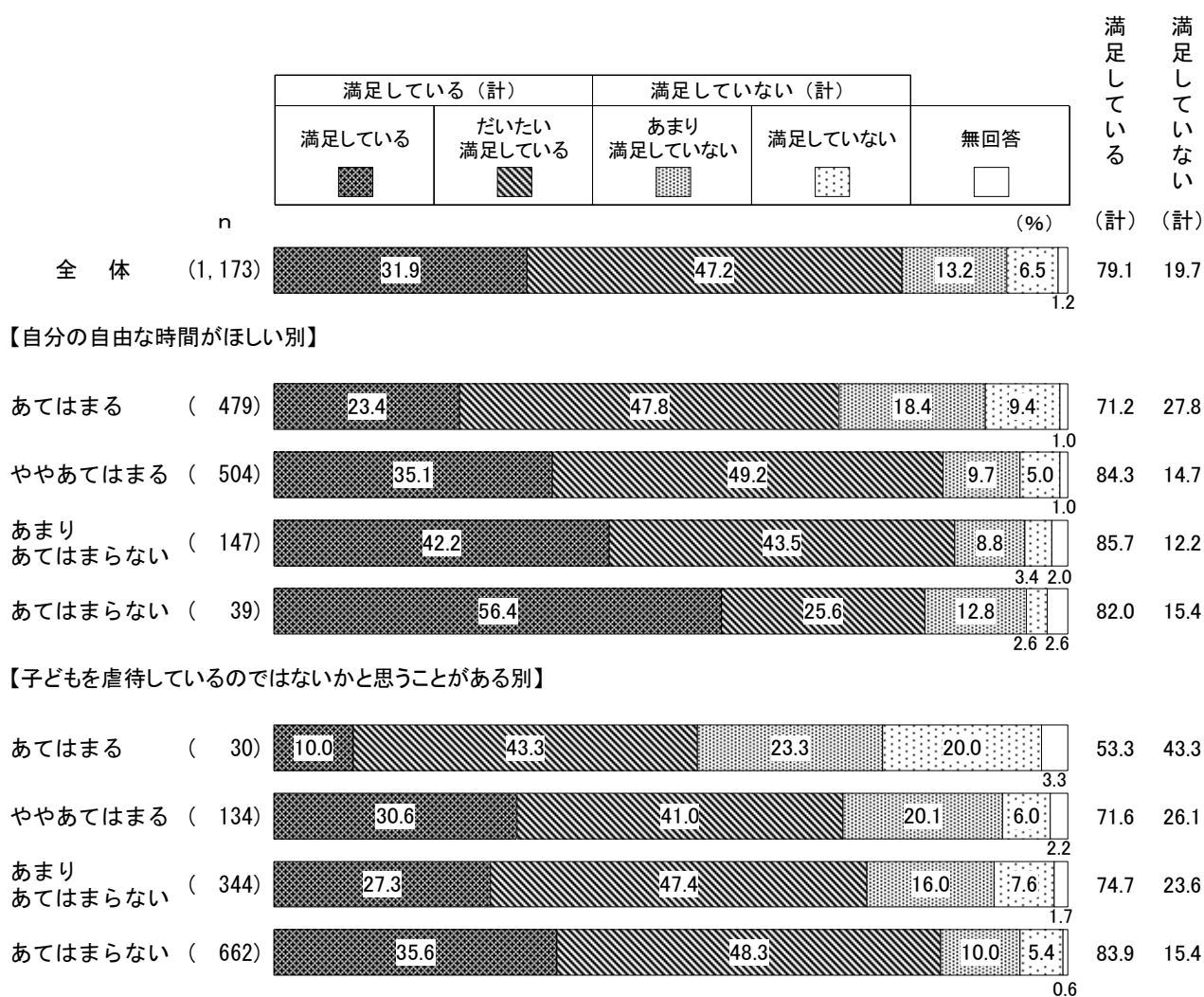
「子育てに自信が持てないと感じる別」で見ると、『満足していない（計）』は子育てに自信が持てないと感じる気持ちが高いほど割合が高く、“あてはまる”で26.3%と高くなっている。

「普段の生活の中でイライラする別」で見ると、『満足していない（計）』は普段の生活の中でイライラする頻度が高くなるほど割合が高く、“あてはまる”で30.9%と高くなっている。

「眠れないことがある別」で見ると、『満足していない（計）』は眠れないことがある頻度が高くなるほど割合が高く、“あてはまる”で31.4%と高くなっている。

図表 5-14-5 夫の育児参加の満足度（現在の気分別）

【「自分の自由な時間がほしい別」、「子どもを虐待しているのではないかと思うことがある別」】



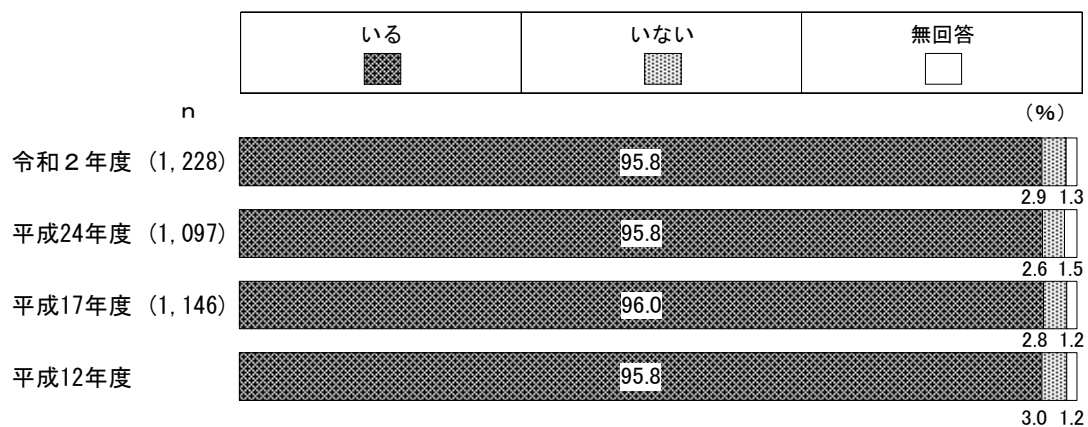
「自分の自由な時間がほしい別」でみると、『満足していない（計）』は“あてはまる”で27.8%と高くなっている。

「子どもを虐待しているのではないかと思うことがある別」でみると、『満足していない（計）』は子どもを虐待しているのではないかと思うことがある頻度が高くなるほど割合が高く、“あてはまる”で43.3%と高くなっている。

(15) 育児について相談する相手の有無

問47 育児について相談する人はいますか。

図表5-15-1 育児について相談する相手の有無（経年比較）

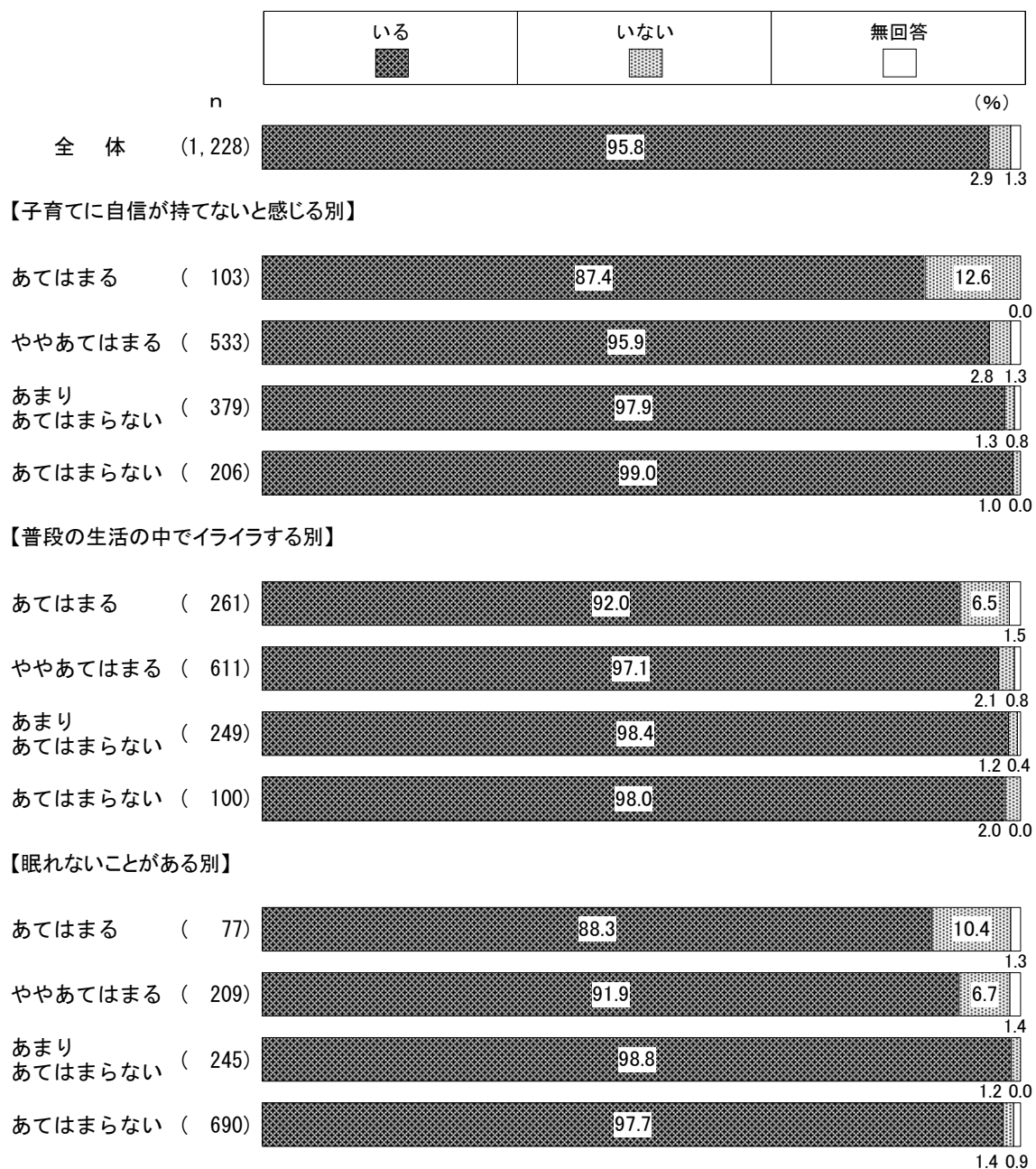


育児について相談する人はいるか聞いたところ、「いる」が95.8%、「いない」は2.9%となっている。

過去の調査と比較すると、平成24年度と比べて大きな傾向の変化はみられない。

図表 5-15-2 育児について相談する相手の有無（現在の気分別）

【「子育てに自信が持てないと感じる別」、「普段の生活の中でイライラする別」、「眠れないことがある別」】



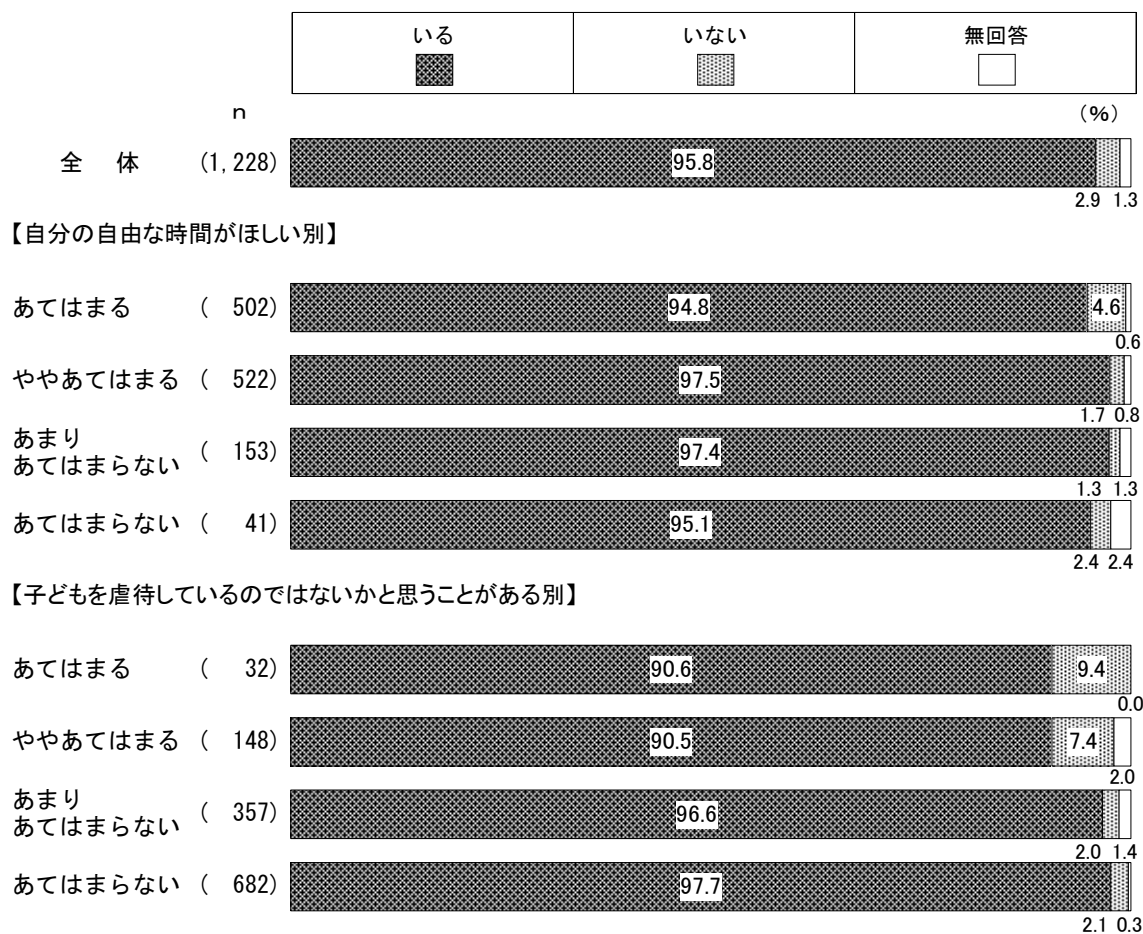
「子育てに自信が持てないと感じる別」で見ると、「いない」は“あてはまる”で12.6%となっている。

「普段の生活の中でイライラする別」で見ると、「いない」は“あてはまる”で6.5%となっている。

「眠れないことがある別」で見ると、「いない」は“あてはまる”で10.4%となっている。

図表 5-15-3 育児について相談する相手の有無（現在の気分別）

【「自分の自由な時間がほしい別」、「子どもを虐待しているのではないかと思うことがある別」】



「自分の自由な時間がほしい別」でみると、「いない」は“あてはまる”で4.6%となっている。

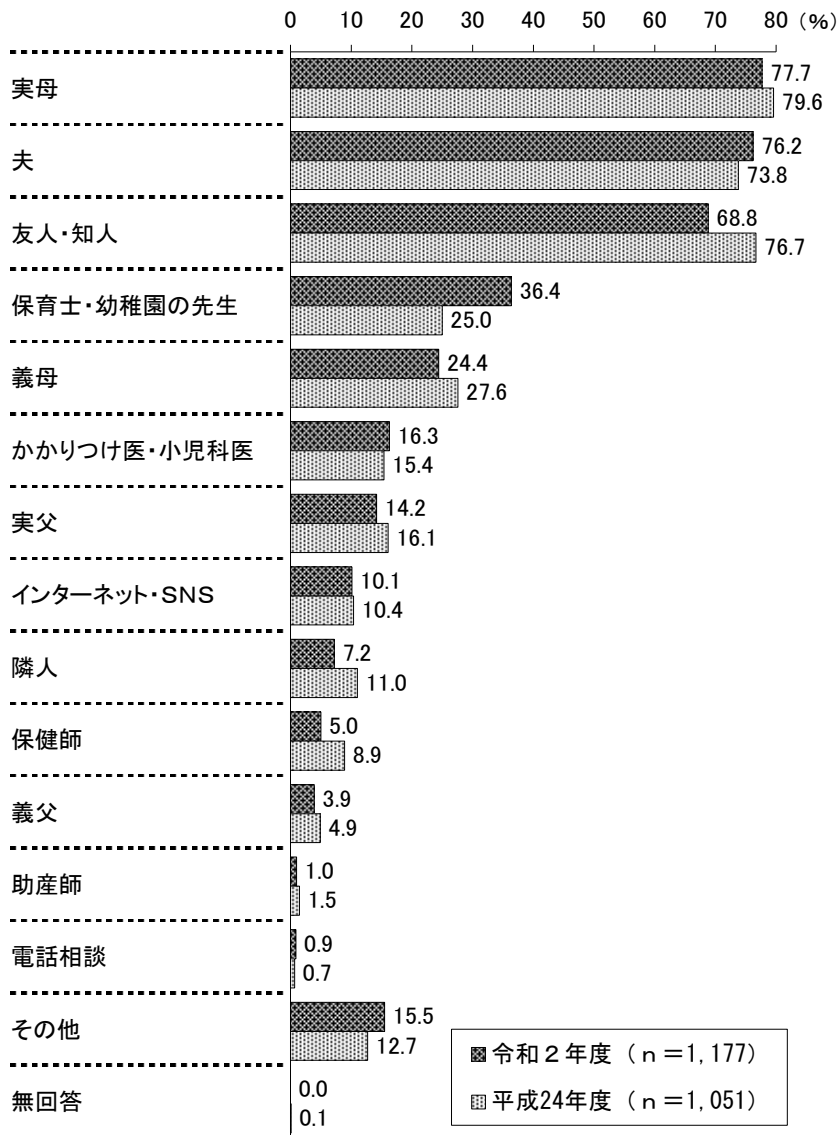
「子どもを虐待しているのではないかと思うことがある別」でみると、「いない」は“あてはまる”で9.4%となっている。

(16) 育児について相談する相手

問47で「いる」と答えた方へ

問47-1 相談先として、あてはまるものすべてに○をつけてください。

図表5-16-1 育児について相談する相手（経年比較）〔複数回答〕



※「インターネット・SNS」は、平成24年度以前では「インターネット」としていた

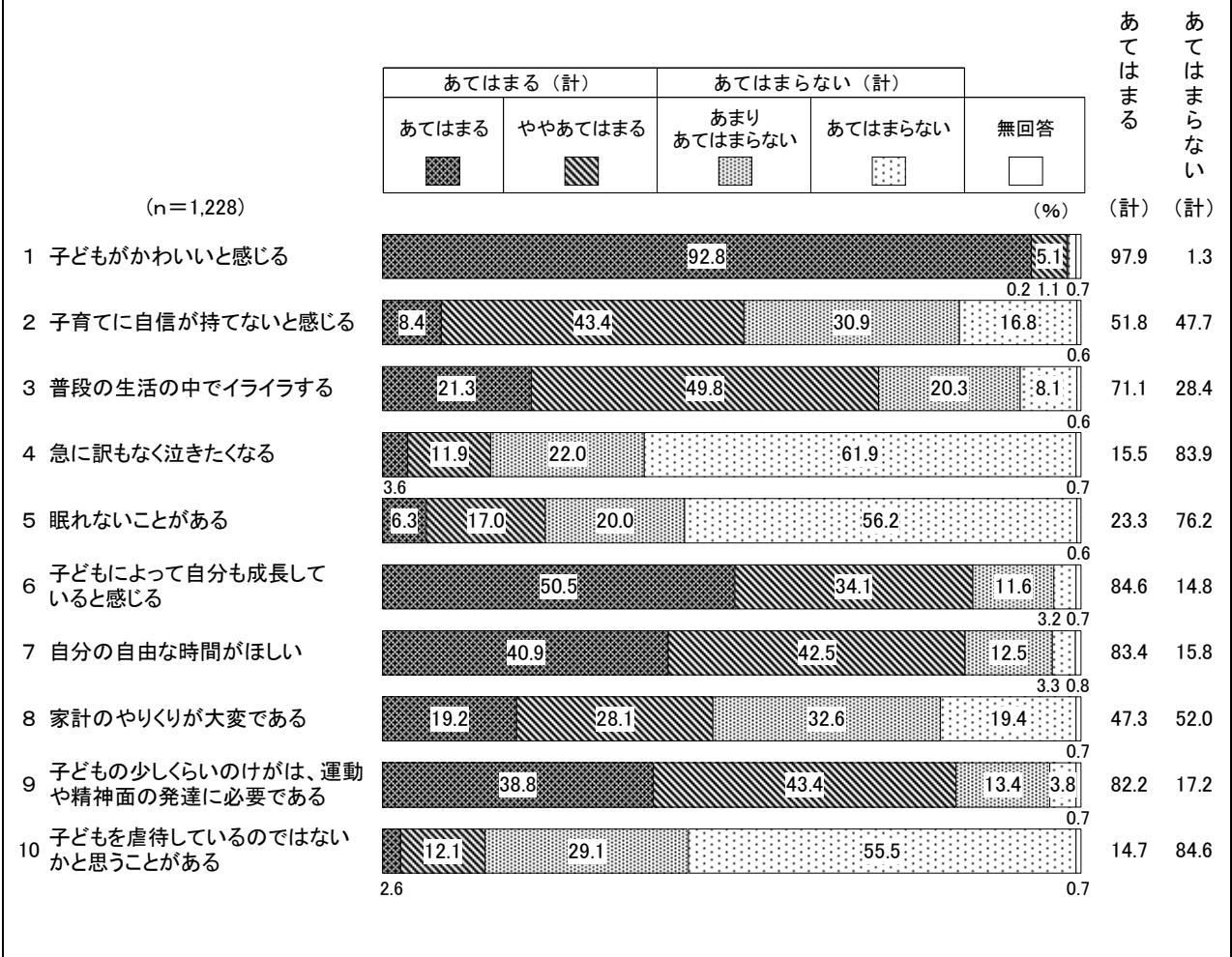
育児について相談する人が「いる」と答えた人(1,177人)に、相談先を聞いたところ、「実母」が77.7%で最も高く、次いで「夫」(76.2%)、「友人・知人」(68.8%)、「保育士・幼稚園の先生」(36.4%)となっている。

過去の調査と比較すると、「保育士・幼稚園の先生」は平成24年度より11.4ポイント増加している。一方、「友人・知人」は平成24年度より7.9ポイント、「保健師」は平成24年度より3.9ポイント、「隣人」は平成24年度より3.8ポイント、それぞれ減少している。

(17) 現在の気分

問48 今のあなたの気持ちに最もあてはまるものに○をつけてください。

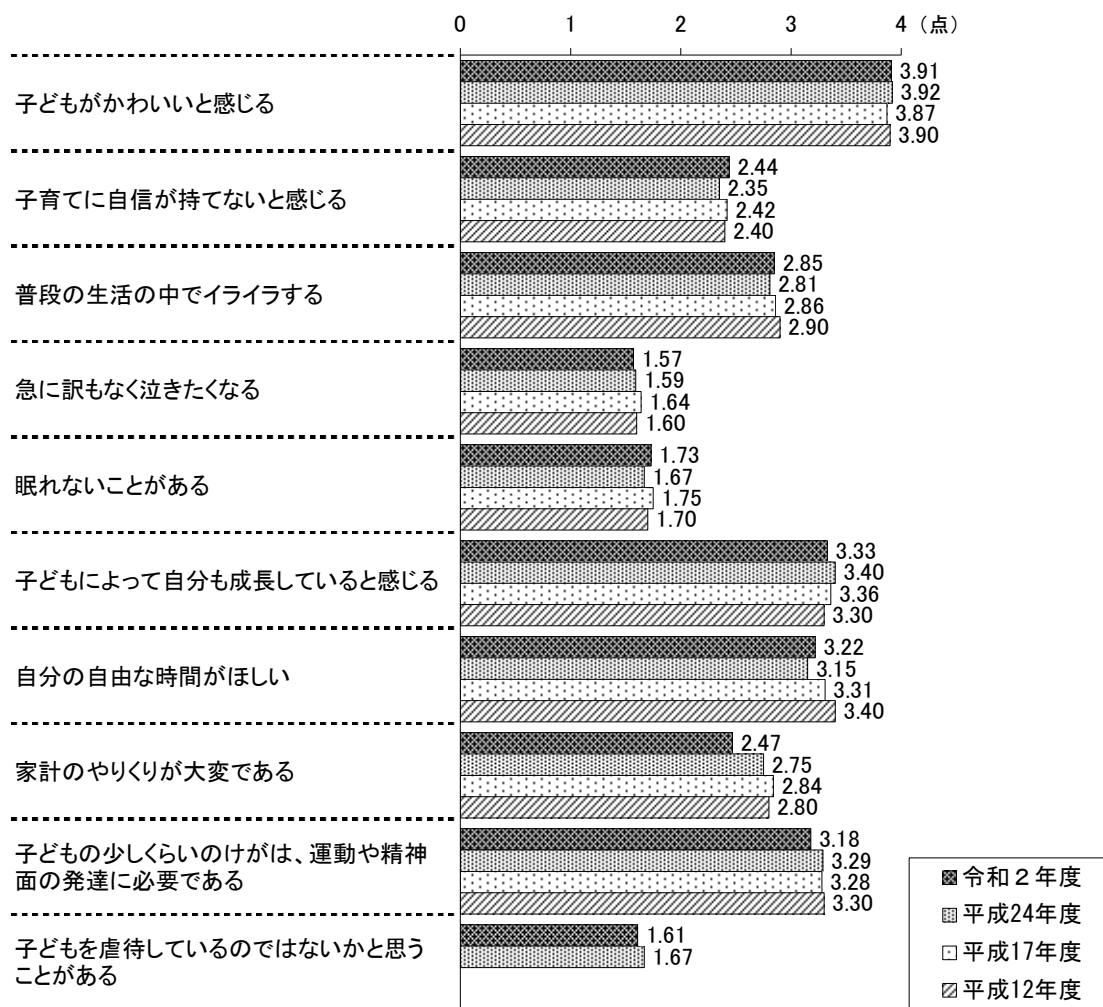
図表5-17-1 現在の気分



現在の気分について、10項目に分けて聞いたところ、「あてはまる」と「ややあてはまる」を合わせた『あてはまる (計)』は“子どもがかわいいと感じる”で97.9%と最も高く、次いで“子どもによって自分も成長していると感じる” (84.6%)、“自分の自由な時間がほしい” (83.4%)となっている。

一方、「あまりあてはまらない」と「あてはまらない」を合わせた『あてはまらない (計)』は“子どもを虐待しているのではないかと思うことがある”で84.6%と最も高く、次いで“急に涙もなく泣きたくなる” (83.9%)、“眠れないことがある” (76.2%)となっている。

図表5-17-2 現在の気分に関する項目別回答の平均点



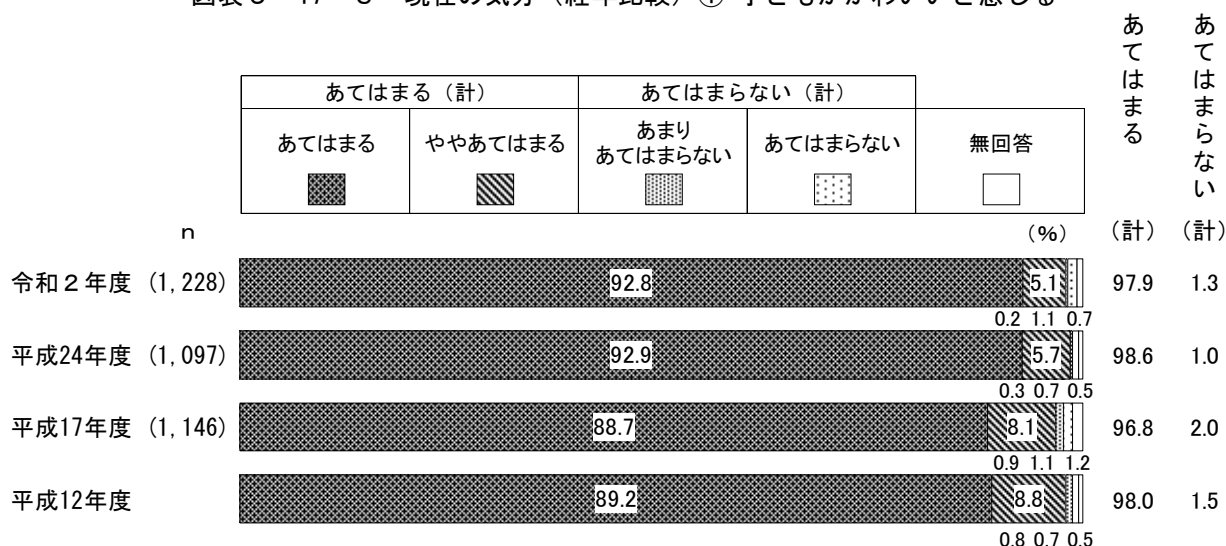
それぞれの項目の回答に、得点を持たせて計算した。

得点は「あてはまる」に4点、「ややあてはまる」に3点、「あまりあてはまらない」に2点、「あてはまらない」に1点を与えた。従って最高点は4点、最低点は1点となり、中間点は2.5点となる。

「子どもがかわいいと感じる」は3.91点で、ほとんどの人がそう思っているということがうかがえる。また、「家計のやりくりが大変である」は2.47点で、どちらともいえない位置にある。一方、「急に涙もなく泣きたくなくなる」は1.57点で、あてはまらない人がほとんどだと考えられる。

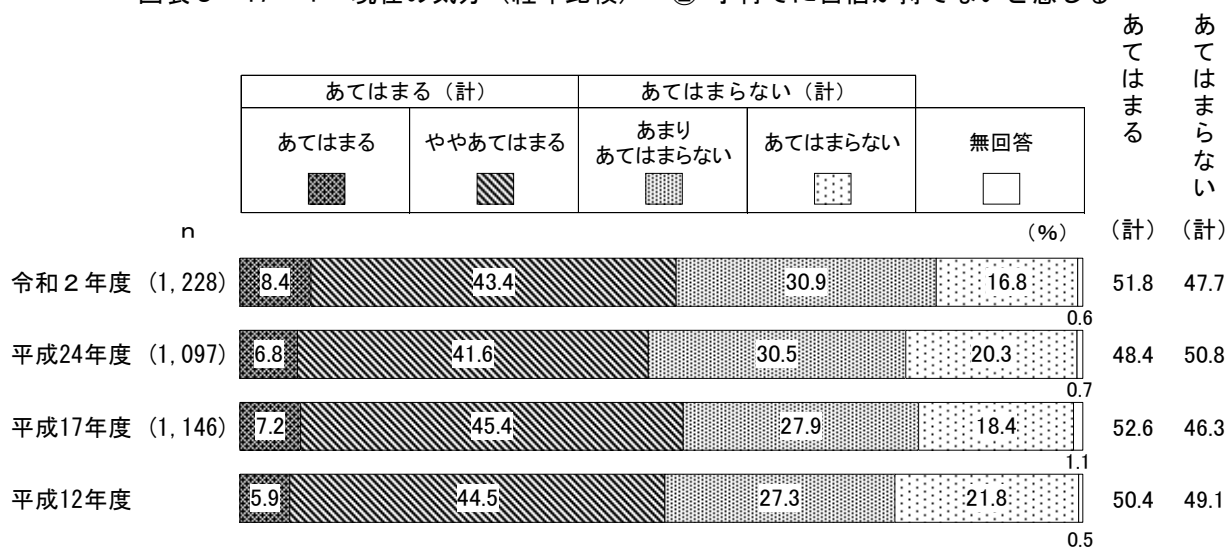
過去の調査と比較すると、大きな傾向の変化はみられない。

図表 5-17-3 現在の気分（経年比較）① 子どもがかわいいと感じる



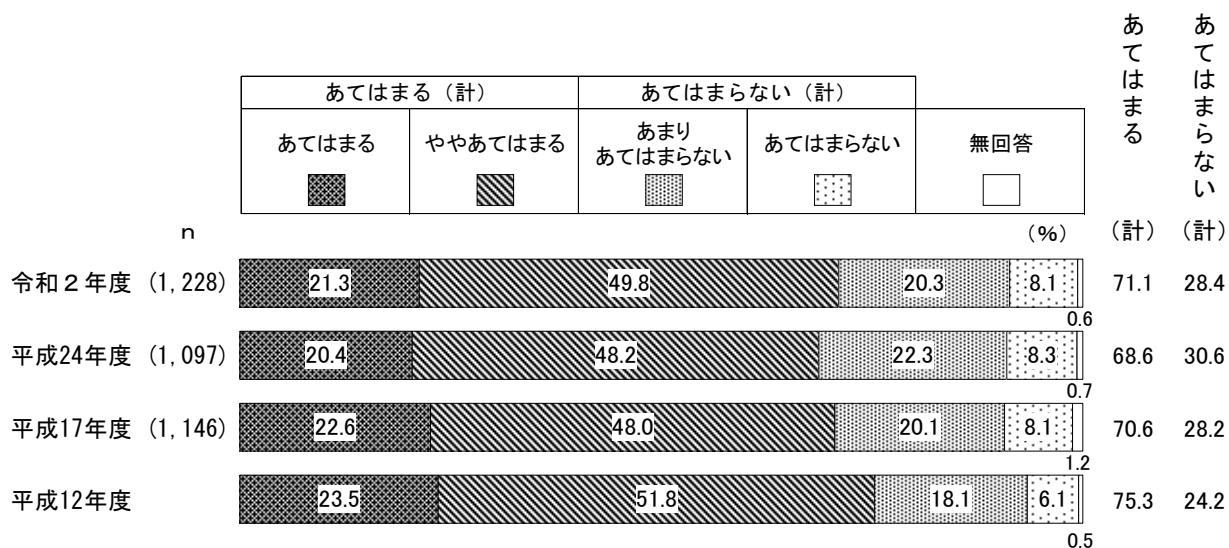
「子どもがかわいいと感じる」を過去の調査と比較すると、平成24年度と比べて大きな傾向の変化はみられない。

図表 5-17-4 現在の気分（経年比較）② 子育てに自信が持てないと感じる



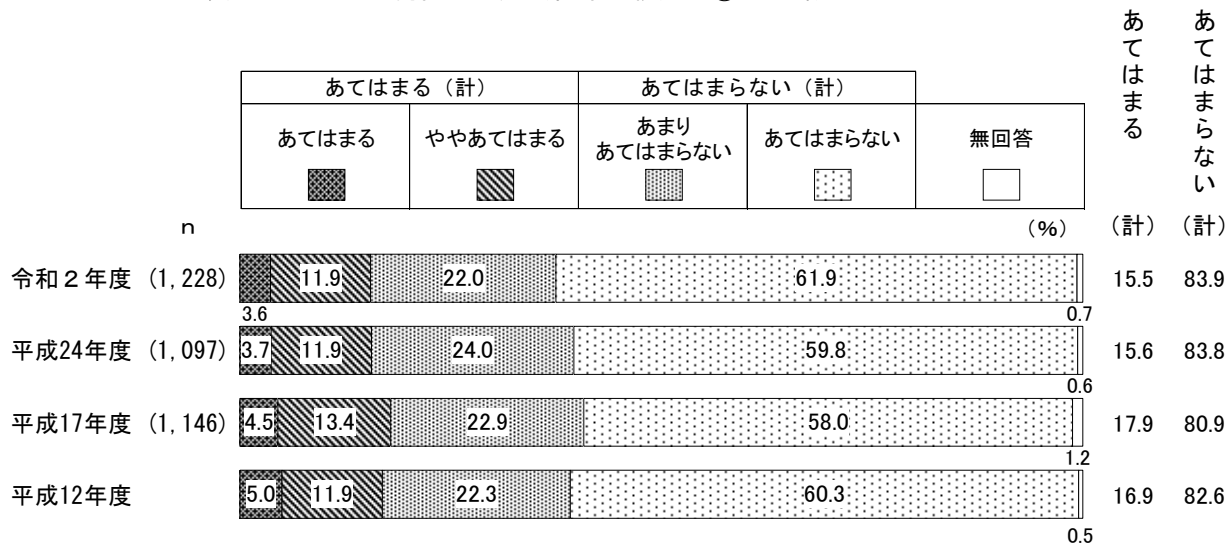
「子育てに自信が持てないと感じる」を過去の調査と比較すると、『あてはまる（計）』は平成24年度より3.4ポイント増加している。

図表5-17-5 現在の気分（経年比較） ③ 普段の生活の中でイライラする



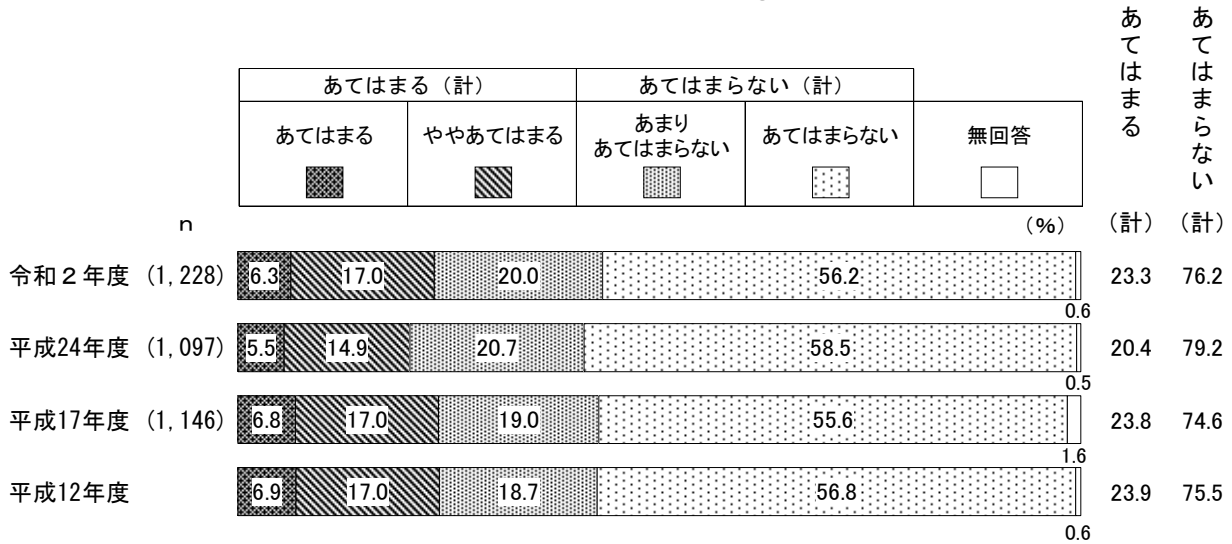
「普段の生活の中でイライラする」を過去の調査と比較すると、平成24年度と比べて大きな傾向の変化はみられない。

図表5-17-6 現在の気分（経年比較） ④ 急に涙もなく泣きたくなくなる



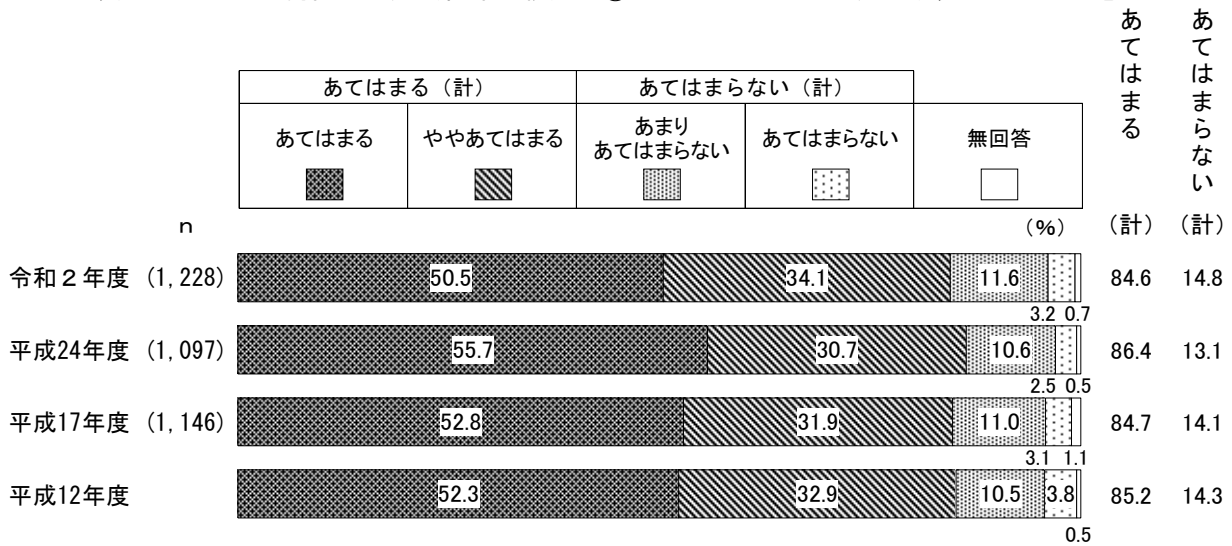
「急に涙もなく泣きたくなくなる」を過去の調査と比較すると、平成24年度と比べて大きな傾向の変化はみられない。

図表5-17-7 現在の気分（経年比較） ⑤ 眠れないことがある



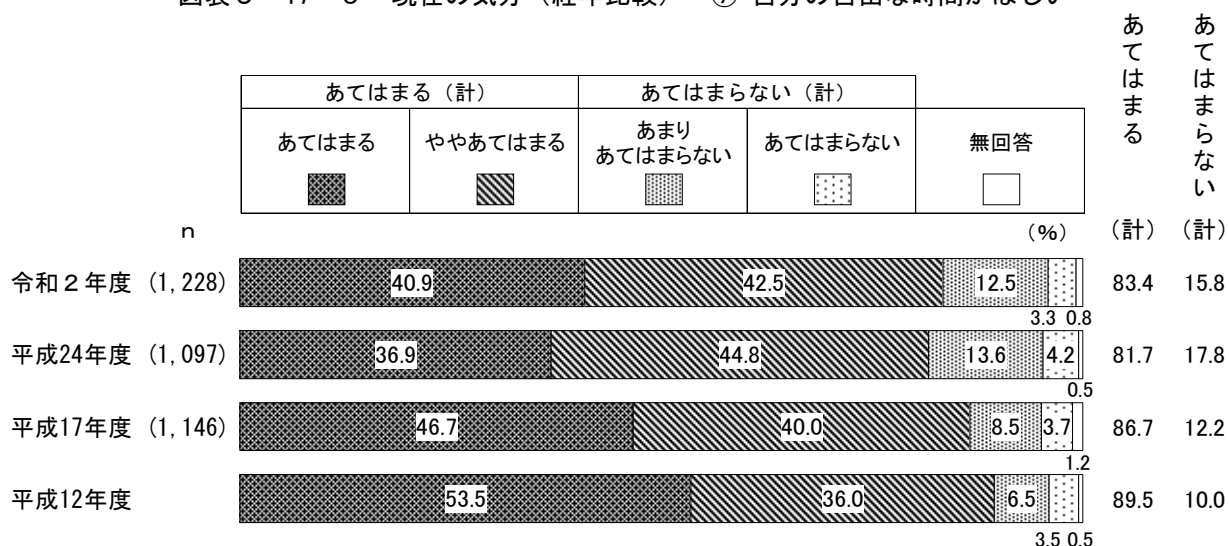
「眠れないことがある」を過去の調査と比較すると、『あてはまらない（計）』は平成24年度より3.0ポイント減少している。

図表5-17-8 現在の気分（経年比較） ⑥ 子どもによって自分も成長していると感じる



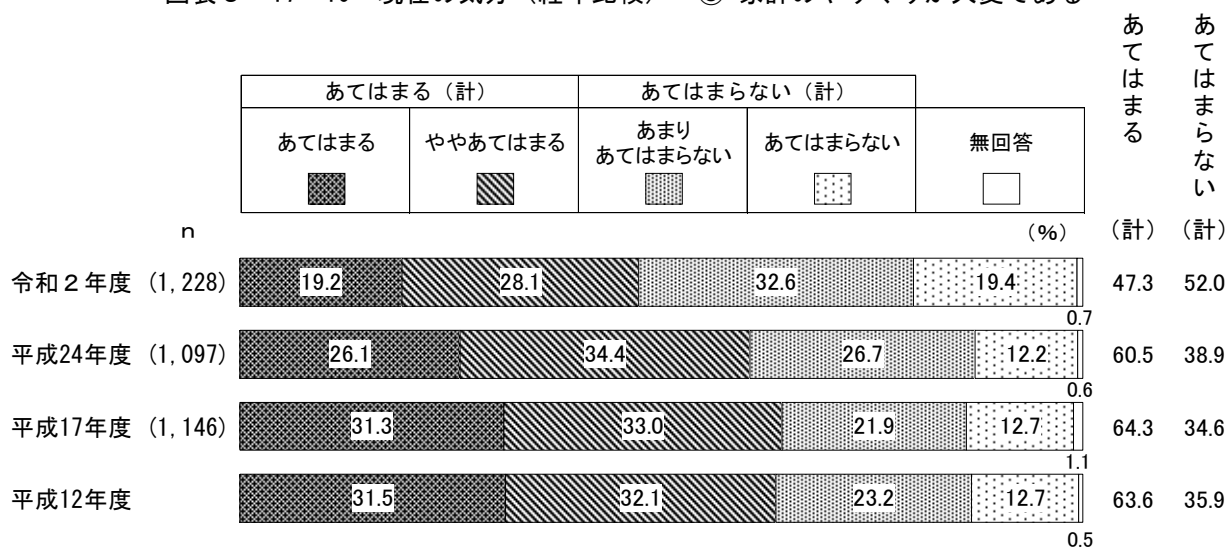
「子どもによって自分も成長していると感じる」を過去の調査と比較すると、平成24年度と比べて大きな傾向の変化はみられない。

図表5-17-9 現在の気分（経年比較） ⑦ 自分の自由な時間がほしい



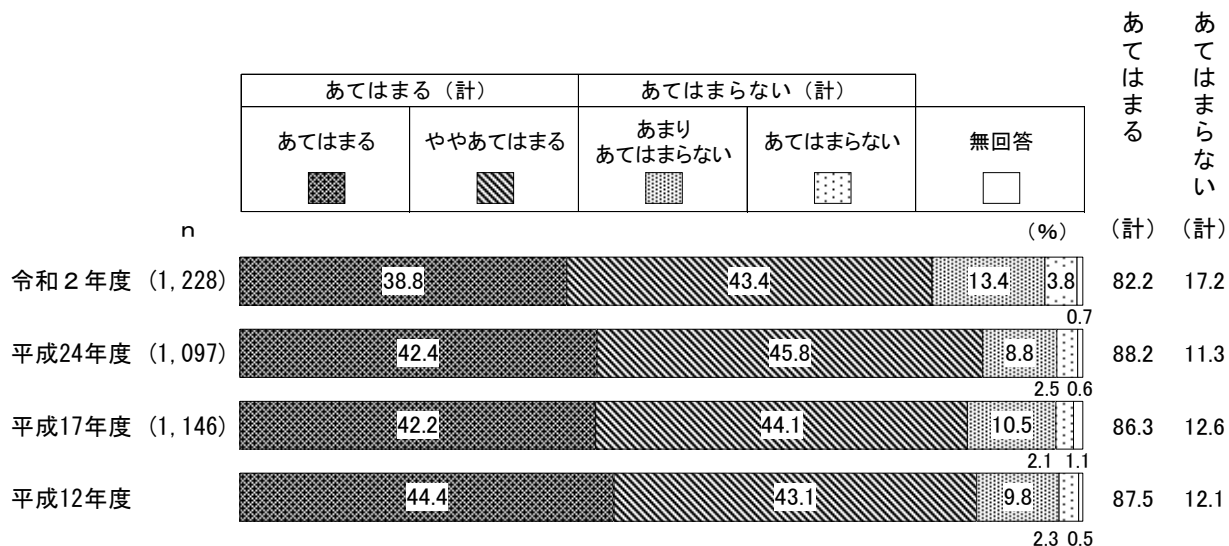
「自分の自由な時間がほしい」を過去の調査と比較すると、平成24年度と比べて大きな傾向の変化はみられない。

図表5-17-10 現在の気分（経年比較） ⑧ 家計のやりくりが大変である



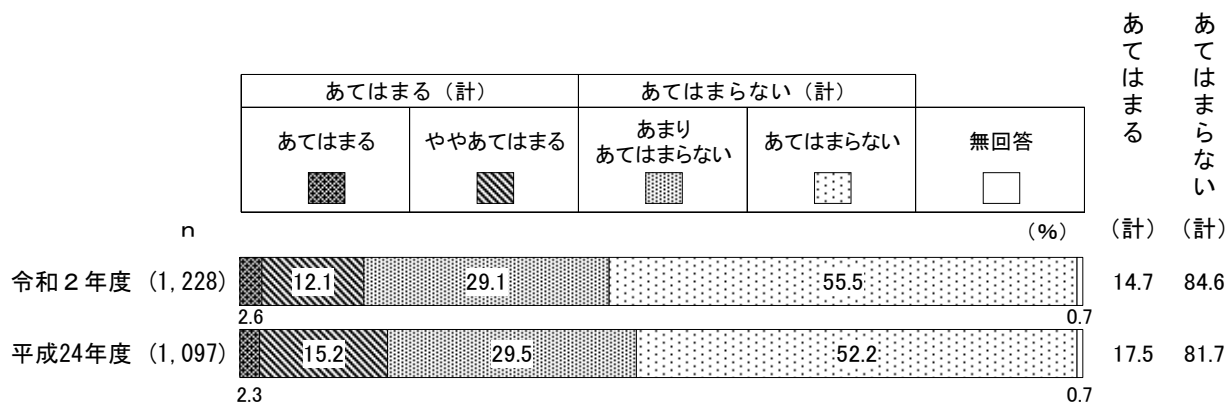
「家計のやりくりが大変である」を過去の調査と比較すると、『あてはまらない（計）』は平成24年度より13.1ポイント増加している。

図表 5-17-11 現在の気分（経年比較） ⑨ 子どもの少しくらいのけがは、運動や精神面の発達に必要である



「子どもの少しくらいのけがは、運動や精神面の発達に必要である」を過去の調査と比較すると、『あてはまらない（計）』は平成24年度より5.9ポイント増加している。

図表 5-17-12 現在の気分（経年比較） ⑩ 子どもを虐待しているのではないかとすることがある



「子どもを虐待しているのではないかとすることがある」を過去の調査と比較すると、平成24年度と比べて大きな傾向の変化はみられない。